

(別 冊)

《第 1 期まちづくり戦略計画の
実施状況および基本事業目標進捗状況》

目 次

第1期まちづくり戦略計画の実施状況

- 1 重点取組事業の実施状況 1
- 2 基本事業目標の進捗状況 136

1 重点取組事業の実施状況

10の課題		事業数	取組状況に対する評価区分				
			A	B	C	D	E
1	地域の未来を支える人づくり	20	13	6		1	
2	文化芸術の創造と振興	6	4	1	1		
3	環境保全と地球温暖化への対応	15	9	4	1	1	
4	安全で安心できる生活環境の向上	24	7	14	3		
5	少子化対策の充実	11	7	3	1		
6	健やかに暮らせる福祉環境づくり	9	6	2	1		
7	都市イメージの向上とにぎわいづくり	10	3	6		1	
8	中枢拠点機能の強化	15	4	9	2		
9	コミュニティを軸とした協働のまちづくり	7	3	4			
10	行政改革の推進	7	4	3			
合 計		124	60	52	9	3	
構 成 比 (%)		100.0	48.4	41.9	7.3	2.4	0.0

注) 取組状況に対する評価区分の考え方

事業の実施状況を総合的に判断し、下記の区分で評価しています。

評 価 区 分	
A	完了または順調に進んでいる
B	概ね順調に進んでいる
C	更なる取組が必要
D	遅延または準備等着手段階
E	未着手

重点的・戦略的に 取り組む10の課題		重点取組事業名	担当課	評価 区分	ページ
1	地域の未来を 支える人づくり (20事業)	小学校狭隘校地拡張整備事業	教育部総務課	B	8
		小・中学校特別教室への空調機整備事業	教育部総務課	A	9
		幼稚園園舎整備事業	教育部総務課	A	10
		小・中学校校舎等増・改築事業	教育部総務課	A	11
		新設統合第一小・中学校（仮称）建設事業	教育部総務課新設 統合校整備室	A	11
		新設統合第二小学校（仮称）建設事業	教育部総務課新設 統合校整備室	A	12
		塩江地区学校統合事業	教育部総務課新設 統合校整備室	B	13
		特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	B	14
		少人数学級推進事業	学校教育課	A	14
		小中一貫教育推進事業	学校教育課	A	15
		新設統合第二小学校（仮称）教育推進事業	学校教育課	A	16
		学校図書館活性化推進事業	学校教育課	B	17
		早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業	生涯学習課	A	18
		スポーツ振興基本計画（仮称）策定事業	スポーツ振興課	B	19
		南部地域体育施設（仮称）整備事業	スポーツ振興課	D	20
		屋島陸上競技場整備事業	スポーツ振興課	B	21
		地域密着型トップスポーツチーム支援事業	スポーツ振興課	A	22
		学校施設緑化事業	教育部総務課	A	23
		牟礼公民館耐震化等事業	生涯学習課	A	24
		スクールカウンセラー配置事業	高松第一高等学校	A	25
2	文化芸術の創 造と振興 (6事業)	デリバリーアーツ事業	国際文化振興課	A	26
		高松市美術館開館20周年記念事業	美術館美術課	A	27
		国分寺地区文化施設整備事業	国際文化振興課	C	28
		屋嶋城城門遺構整備事業	文化財課	A	28
		“瀬戸の都・高松”石彫トリエンナーレ 2009	国際文化振興課	A	29
		瀬戸内国際芸術祭推進事業	国際文化振興課	B	31

重点的・戦略的に 取り組む10の課題		重点取組事業名	担当課	評価 区分	ページ
3	環境保全と地球温暖化への 対応 (15事業)	環境リーダー養成事業	環境保全推進課	D	32
		住宅用太陽光発電システム設置補助事業	環境保全推進課	A	33
		レジ袋削減推進事業	環境保全推進課	B	33
		ごみ減量推進事業（家庭系、事業系）	環境保全推進課	B	34
		安原地区香東川親水ゾーン整備事業	環境総務課環境施設対策室	B	35
		不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦事業	環境指導課	A	36
		高松水環境会議事業	企画課水環境対策室	A	37
		再生水利用下水道事業	下水道建設課	A	39
		節水キャンペーン「我が家の水がめづくり」事業	企画課水環境対策室	A	40
		太陽熱利用システム設置費補助事業	環境保全推進課	C	41
		緑のカーテン事業	環境保全推進課	A	42
		緑のカーテンづくり事業	保育課	A	43
		高松クリーンデー“たかまつきれいでー”の実施	環境指導課適正処理対策室	A	44
		「いざり山」市民活動支援事業	農林水産課	A	45
		美しい森林づくり整備助成事業	農林水産課	B	46
4	安全で安心できる生活環境 の向上 (24事業)	道路整備事業	道路課	C	47
		橋梁改築修繕事業	道路課	A	48
		高松市緑の基本計画策定事業	公園緑地課	B	49
		東部運動公園整備事業	公園緑地課	B	50
		高潮等関連整備事業	河港課	B	51
		合併処理浄化槽設置整備事業	下水道管理課	B	52
		污水施設整備事業	下水道建設課	A	53
		浸水対策整備事業	下水道建設課	B	54
		椋川ダム整備事業（水源地域整備事業）	河港課	B	55
		水道配水管網整備事業	水道整備課	A	56
		自己処理水源確保事業（浄水場整備等）	浄水課	B	58
		鉛管解消対策事業	給水維持課	A	59

重点的・戦略的に 取り組む10の課題		重点取組事業名	担当課	評価 区分	ページ
4	安全で安心で きる生活環境 の向上 (24事業)	消防屯所整備事業	消防局総務課	B	60
		消防署所適正配置整備事業	消防局総務課	A	61
		支所耐震化事業	地域政策課	B	62
		コミュニティセンター・地区公民館耐震化 事業	地域政策課	B	63
		公立保育所耐震化事業	保育課	A	63
		小・中学校・幼稚園施設耐震化事業	教育部総務課	A	64
		高松第一高等学校施設耐震化事業	高松第一高等学校	B	65
		住宅・建築物耐震改修促進事業	建築指導課	C	66
		自主防災組織等育成事業	消防局予防課	C	67
		青色回転灯等安全・安心活動基盤整備事業	地域政策課	B	68
		危機管理指針等策定事業	危機管理課	B	69
		市営墓地整備事業	市民やすらぎ課	B	70
5	少子化対策の 充実 (11事業)	つどいの広場事業	こども未来課	A	72
		育児支援家庭訪問事業	こども未来課	B	73
		ひとり親家庭子育て支援事業	こども未来課	C	74
		地域子育て支援拠点事業	保育課	A	75
		私立保育所施設整備補助事業	保育課	A	76
		公立保育所施設整備事業	保育課	A	77
		放課後子ども教室事業	生涯学習課	B	78
		放課後児童クラブ事業	こども未来課	B	79
		留守家庭児童会事業	生涯学習課	A	80
		ファミリー・サポート・センター事業	こども未来課	A	81
		保育士実践型研修事業	保育課	A	82
6	健やかに暮ら せる福祉環境 づくり (9事業)	学校教育における食育推進事業	保健体育課	A	83
		保育所食育推進事業（地域で育むわくわく クッキング体験事業）	保育課	A	84
		地域食育推進事業（“食育”で心と体いき いき事業）	保健センター	A	85
		こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問指 導）	保健センター	A	86

重点的・戦略的に 取り組む10の課題		重点取組事業名	担当課	評価 区分	ページ
6	健やかに暮ら せる福祉環境 づくり (9事業)	産後ケア事業	保健センター	B	87
		がん対策推進事業	保健センター	C	88
		医療安全支援センター設置事業	保健対策課	A	89
		新病院（附属医療施設を含む）整備事業	経営管理課	B	90
		発達障害者支援体制整備事業	障害福祉課	A	91
7	都市イメージ の向上とにぎ わいづくり (10事業)	源平屋島地域観光振興事業	観光振興課	B	92
		高松観光プロモーション事業	観光振興課	B	94
		たかまつ食と文化のフェスタ（仮称）事業	観光振興課	B	95
		中央商店街空き店舗活用支援事業	商工労政課	B	96
		企業誘致推進事業	商工労政課	A	97
		高松ブランド構築事業	商工労政課	D	98
		トータル市・南昌市との都市提携周年記念 事業	国際文化振興課都 市交流室	A	99
		高松・帯広 愛と幸福の都市交流事業	商工労政課 観光振興課	B	100
		移住・交流促進事業	企画課	B	101
		たかまつ松平藩まちかど漫遊帖補助事業 (09 香川まちめぐり てくてくさぬき 共催事業)	観光振興課	A	102
8	中枢拠点機能 の強化 (15事業)	街路事業	都市計画課	B	103
		中央通りオフィス環境整備事業	まちなか再生課	C	105
		中心市街地歩行者空間整備事業	まちなか再生課	B	106
		高松丸亀町商店街再開発事業	まちなか再生課	B	107
		公共交通利便性向上推進事業	企画課交通政策室 都市計画課	B	108
		J R 端岡駅周辺整備事業	都市計画課	B	109
		高松市総合都市交通計画策定事業	企画課交通政策室	B	110
		新都市交通システム導入検討事業	企画課交通政策室	C	111
		自転車利用都市づくり計画策定事業	企画課交通政策室	A	112
		レンタサイクル事業	都市計画課交通安 全対策室	B	113
		高松市都市計画マスタープラン策定事業	都市計画課	A	114

重点的・戦略的に 取り組む10の課題		重点取組事業名	担当課	評価 区分	ページ
8	中枢拠点機能 の強化 (15事業)	高松市都市景観基本計画策定事業	都市計画課	B	115
		高松城跡等整備事業	公園緑地課	B	116
		超高速情報通信網整備事業	情報政策課	A	117
		コンパクト・エコシティ推進事業	都市計画課	A	118
9	コミュニティ を軸とした協 働のまちづく り (7事業)	地域コミュニティ構築支援事業	地域政策課	A	120
		地域コミュニティまちづくり活動支援事業	地域政策課	A	121
		地域まちづくり交付金事業	地域政策課	A	122
		コミュニティセンター整備事業	地域政策課	B	124
		協働企画提案募集事業	地域政策課市民協働推進室	B	125
		地域ゆめづくり提案事業	地域政策課	B	126
		自治と協働の基本指針(仮称)策定事業	地域政策課	B	127
10	行政改革の推 進 (7事業)	自治基本条例(仮称)制定事業	企画課	A	129
		職員の意識改革(人材育成)事業	人事課	B	130
		財務会計システム再構築事業	情報政策課	A	131
		大学との連携事業	企画課	B	132
		情報システム最適化事業	情報政策課	A	133
		職員証ICカード化事業	人事課 情報政策課	B	134
		定住自立圏構想推進事業	企画課	A	135

計124事業

担当課名は、計画策定時の名称を記載しています。

第1期まちづくり戦略計画の重点取組事業の実施状況の構成は、次のようになっています。

まちづくりの10の課題を記載

No ○○○

○○○ 事業	○○○課	
	事業費（計画額）	○○○万円
	事業費（実績額）	△△△万円

3年間の計画額を記載

2年間の実績額を記載

《 事業概要 》

○○○○
○○○○

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
○○○○	○○○○	○○○○

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
○○○万円	○,○○○万円
○○○○	○○○○

} 実施内容等を記載

《 部局評価 》

評価区分	評価内容

事業の実施状況の評価（A～E）を記載

評価区分	
A	完了または順調に進んでいる
B	概ね順調に進んでいる
C	更なる取組が必要
D	遅延または準備等着手段階
E	未着手

事業の実施状況の評価内容を記載

1

地域の未来を支える人づくり

小学校狭隘校地拡張整備事業	教育部総務課
	事業費（計画額） 5億2,810万円
	事業費（実績額） 2億3,981万円

※事業費（計画額）は平成20～21年度のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

校区内の都市化などにより、児童数が増加し運動場が狭隘化した学校について、必要な運動場面積を確保し教育環境の向上を図るため、隣接地を購入し学校用地を拡張します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
多肥小学校拡張用地買収、造成等 3,411 m ² 林小学校拡張用地測量、設計、鑑定 3,351 m ²	林小学校拡張用地買収、造成等 3,351 m ²	未定

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
565万円	2億3,416万円
多肥小学校 鑑定評価、用地測量、造成設計 林小学校 鑑定評価、用地測量、造成設計	多肥小学校 用地取得、登記、造成工事 林小学校 用地取得、登記、造成工事 十河小学校 鑑定評価、用地測量、造成設計

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	多肥小学校については、用地取得が平成21年度に繰越となりましたが、林小学校とともに平成21年度内に造成工事は完了の予定です。

小・中学校特別教室への空調機整備事業	教育部総務課
	事業費（計画額） 2億1,910万円
	事業費（実績額） 9,643万円

《 事業概要 》

児童生徒の良好な学習環境を確保するため、小学校47校、中学校20校の特別教室（音楽室、図書室 計164教室）に、平成22年度までの3か年で空調機を設置します。（統合対象校、休校中の学校を除く。）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
小・中学校の特別教室への空調機設置 音楽室 32 室、図書室 23 室	小・中学校の特別教室への空調機設置 音楽室 29 室、図書室 26 室	小・中学校の特別教室への空調機設置 音楽室 36 室、図書室 18 室

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
3,905万円	5,738万円
小・中学校の特別教室への空調機設置 音楽室 33 室、図書室 22 室	小・中学校の特別教室への空調機設置 音楽室 55 室、図書室 33 室

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	当初の3か年計画を1年前倒しし、2か年で完了しました。

幼稚園園舎整備事業	教育部総務課	
	事業費（計画額）	1億860万円
	事業費（実績額）	1億907万円

《 事業概要 》

幼稚園における教育環境の向上を図るため、園舎の改築や保育室の増築・改修を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
園舎の改築 香南幼稚園改築基本構想策定 （香南保育所と合築） 保育室の増築 三溪・檀浦幼稚園工事 春日幼稚園実施設計 保育室の改修 川岡幼稚園実施設計	園舎の改築 香南幼稚園改築基本設計 保育室の増築 春日幼稚園工事 保育室の改修 川岡幼稚園工事	園舎の改築 香南幼稚園改築実施設計

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
5,789万円	5,118万円
香南幼保一体化施設整備基本構想策定 保育室の増築 三溪・檀浦幼稚園工事 春日幼稚園実施設計 保育室の改修 川岡幼稚園実施設計	園舎の改築 香南幼稚園改築基本設計 保育室の増築 春日幼稚園工事 保育室の改修 川岡幼稚園工事

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	幼稚園園舎の改築工事、実施設計等について、全ての事業で予定どおり完了しました。

小・中学校校舎等増・改築事業	教育部総務課	
	事業費（計画額）	4億6,490万円
	事業費（実績額）	5億2,008万円

《 事業概要 》

校区内の都市化などにより、児童生徒数が増加し教室不足が生じている小・中学校について、必要な教室数を確保し教育環境の向上を図るため、校舎を増築します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
増築工事 木太北部小学校 8 教室 増築実施設計 林小学校 6 教室	増築工事 林小学校 6 教室 増築実施設計 太田小学校 4 教室	増築工事 太田小学校 4 教室

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3 末見込額等）
1億8,489万円	3億3,519万円
増築工事 木太北部小学校 8 教室 増築実施設計 林小学校 8 教室	増築工事 林小学校 8 教室

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	木太北部小学校の増改築工事など、全ての事業で予定どおり完了しました。

新設統合第一小・中学校（仮称）建設事業	教育部総務課新設統合校整備室	
	事業費（計画額）	20億8,640万円
	事業費（実績額）	15億6,596万円

《 事業概要 》

市中心部における学校の適正規模化および学校規模の格差是正を図り、より良い教育環境を創出するため、松島・築地・新塩屋町の3小学校と光洋・城内の2中学校を統合し、松島小学校と光洋中学校の敷地を一体的に活用して、小中一貫教育校を新設します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
新校舎棟建設工事	新設統合第一中学校（仮称）開校 松島小校舎等および光洋中校舎 解体工事 新体育館棟建設工事	新設統合第一小学校（仮称）開校 光洋中体育館等解体工事 外構工事等

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
9,865万円	14億6,731万円
新校舎棟建設工事	高松第一中学校開校 松島小校舎等および光洋中校舎 解体工事 新体育館棟建設工事

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成21年4月に高松第一中学校が開校するなど、事業計画どおりに進みました。

新設統合第二小学校（仮称）建設事業	教育部総務課新設統合校整備室
	事業費（計画額） 30億1,650万円
	事業費（実績額） 25億9,421万円

《 事業概要 》

市中心部における学校の適正規模化および学校規模の格差是正を図り、より良い教育環境を創出するため、日新・二番丁・四番丁の3小学校を統合し、二番丁小学校の敷地を活用して、統合小学校を新設します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
新校舎棟建設工事	二番丁小校舎解体工事 新体育館棟建設工事	新設統合第二小学校（仮称）開校 二番丁小体育館等解体工事 外構工事等

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
5億8,180万円	20億1,241万円
新校舎棟建設工事	二番丁小校舎解体工事 新体育館棟建設工事

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成22年度の開校に向け、事業計画どおりに進んでいます。

塩江地区学校統合事業	教育部総務課新設統合校整備室
	事業費（計画額） 30万円
	事業費（実績額） 439万円

※事業費（計画額）は平成20年度のみ掲載 平成21～22年度は未定

《 事業概要 》

過疎化・少子化が進む塩江地区において、適切な学校運営を図り、より良い教育環境を創出するため、3小学校を統合します。あわせて、塩江中学校との統合についても検討・協議を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
学校統合についての協議 基本構想策定	基本構想に基づく事業実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1万円	438万円
学校統合についての協議	学校統合についての協議 基本構想策定 塩江中学校敷地測量業務委託

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	基本構想の策定が、平成21年度に繰越となりましたが、概ね順調に進んでいます。

特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	
	事業費（計画額）	1億9,820万円
	事業費（実績額）	7,973万円

《 事業概要 》

学校教育法等の改正を踏まえ、障害のある児童生徒に対して適切な教育を行うため、小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）等を含む障害のある児童生徒に学校生活上の介助や支援を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
特別支援教育支援員配置 45 人 (小学校 35 人、中学校 10 人)	特別支援教育支援員配置 60 人 (小学校 45 人、中学校 15 人)	特別支援教育支援員配置 72 人 (小学校 55 人、中学校 17 人)

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
3,595万円	4,378万円
小学校 52 校中 35 校、中学校 24 校 中 10 校に、特別支援教育支援員 45 人を配置	小学校 52 校中 39 校、中学校 23 校 中 13 校に、特別支援教育支援員 52 人を配置

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	特別支援教育支援員の配置について、平成21年度には計画を下回りましたが、概ね順調に拡充できています。

少人数学級推進事業	学校教育課	
	事業費（計画額）	3,570万円
	事業費（実績額）	1,768万円

《 事業概要 》

小学校6年生において、進路指導や生徒指導の充実により、安定した学校生活の推進を図るため、本市独自の教員採用による少人数学級編制を行い、個に応じたわかる授業を展開し、確かな学力を育みます。

対象 1学年 106人以上、1学級 35人以上の児童数を有し、施設面で対応可能な学校

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
少人数学級編制 (小学校2校の6年生) 教員2人(常勤講師)配置	前年度の成果を踏まえ少人数学級編制を実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度(執行額等)	平成21年度(H22.3未見込額等)
579万円	1,189万円
円座小学校・屋島西小学校の計2校の少人数学級推進校に、それぞれ1名の市費講師を配置し、本市独自の少人数学級編制を実施	円座小学校・屋島西小学校・古高松小学校・香西小学校の計4校の少人数学級推進校に、それぞれ1名の市費講師を配置し、本市独自の少人数学級編制を実施

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成20年度における少人数学級編制の推進校2校では、生徒指導面、学習指導面における教育効果が大変大きいことが確認されたことから、21年度には4校で少人数学級編制を実施しました。

小中一貫教育推進事業	学校教育課
	事業費(計画額) 5,590万円
	事業費(実績額) 4,344万円

《 事業概要 》

義務教育の9年間を通した、確かな学力や豊かな人間性等の育成を図るため、新設統合第一小・中学校(仮称)において、中学校教員による小学生指導など小中一貫教育を行います。

あわせて、小学校1年生からの英語教育や、環境教育とキャリア教育を中心として新設した教科「高松みらい科」を実施します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
中学校教員の小学校5・6年生指導 (教科担任制での専門的な指導) 小学校教員の中学校1年生指導 (複数教員による指導) 小学校1年生からの英語教育実施 教科「高松みらい科」の新設	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度 (執行額等)	平成21年度 (H22.3末見込額等)
2,139万円	2,205万円
市費講師7名配置 (関係校) 高松第一小・中学校運営委員会 (委員10名、11回開催) 合同現職教育 (研究推進部会・学習 部会等全5部会、10回開催) 研究授業、合同研修会等 (35回開催)	・市費講師7名配置 (関係校) ・高松第一小・中学校運営委員会 (委員8名、11回開催) ・合同現職教育 (研究推進部会・学 習部会等全5部会、11回開催) ・小中一貫教育の成果発表会の開催

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	各年度とも、小中一貫教育課程の市費講師を7名ずつ配置し、事業計画どおりに進みました。

新設統合第二小学校 (仮称) 教育推進事業	学校教育課
	事業費 (計画額) 190万円
	事業費 (実績額) 144万円

《 事業概要 》

家庭・地域社会とともに子どもを育てる学校づくりおよび地域の創意工夫をいかした特色ある学校づくりを推進するため、新設統合第二小学校 (仮称) における特色あるカリキュラムの開発 (高松学習の構築など) や学校運営をサポートするシステム (高松型学校サポート協議会) の構築等、教育内容の充実に向けて必要な調査・研究を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
特色あるカリキュラムの開発 学校運営をサポートするシステムの構築に向けての調査・研究	特色あるカリキュラムの開発 学校運営をサポートするシステムの構築に向けての調査・研究	特色あるカリキュラムの実施 学校運営をサポートするシステムの実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
63万円	81万円
カリキュラム研究会（3回開催） 作業部会等（15回開催） 高松型学校サポート協議会（仮称） 検討委員会（仮称）の設置に向けた準備会（5回開催） 高松型学校サポート協議会（仮称） 検討委員会（2回開催）	作業部会・合同現職教育等（9回開催） 運営委員会（12回開催） 高松型学校サポート協議会（仮称） 検討委員会（2回開催） 新番丁小学校サポート協議会創設（4回開催）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	特色あるカリキュラムの開発、新番丁小学校サポート協議会の創設など、事業計画どおりに進みました。

学校図書館活性化推進事業	学校教育課
	事業費（計画額） 2億5,760万円
	事業費（実績額） 1億6,698万円

《 事業概要 》

児童生徒の読書意欲を向上し、豊かな人間性を育むため、専門的な知識や資格を持つ学校図書館指導員を学校規模に応じて各小・中学校に配置し、読書相談や読み聞かせ等を行うとともに、学校図書館図書データベース化などを推進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
学校図書館指導員の配置（40人） 499人以下の学校 週2日（1日6時間） 500人以上の学校 週3日（1日6時間） （週1日をなくし2日以上に）	学校図書館指導員の計画的配置	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
8,119万円	8,579万円
学校図書館指導員の配置（40人） 小学校52校、中学校24校に指導員を配置 499人以下の学校 週2日（1日6時間） 500人以上の学校 週3日（1日6時間） （週1日をなくし2日以上に）	学校図書館指導員の配置（40人） 小学校52校、中学校23校に指導員を配置 499人以下の学校 週2日（1日6時間） 500人以上799人以下の学校 週3日（1日6時間） 800人以上の小学校5校 専任の指導員（週5日、1日6時間）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	平成21年度には、800人以上の小学校5校に選任の指導員を配置するなど、概ね順調に拡充できています。

早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業	生涯学習課				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">事業費（計画額）</td> <td style="text-align: right;">50万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">事業費（実績額）</td> <td style="text-align: right;">26万円</td> </tr> </table>	事業費（計画額）	50万円	事業費（実績額）	26万円
	事業費（計画額）	50万円			
事業費（実績額）	26万円				

《 事業概要 》

子どもに日常生活の基礎となる規則正しい生活習慣を習得させるため、全国的に展開されている早寝早起き朝ごはん運動を普及・啓発します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
啓発用マグネットの作成・配布 各小学校区での普及・啓発活動の実施	各小学校区での普及・啓発活動の実施 事例発表会の開催	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
26万円	—
啓発用マグネット・チラシの作成・配布 各小学校区での普及・啓発活動の実施	啓発用マグネットの配布、チラシの作成・配布 各小学校区での普及・啓発活動の実施

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成20年度に38校、平成21年度に42校の小学校で訪問啓発を実施するなど、事業計画どおりに進みました。

スポーツ振興基本計画（仮称）策定事業	スポーツ振興課
	事業費（計画額） 100万円
	事業費（実績額） 73万円

※事業費（計画額）は平成20～21年度のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

近隣6町との合併など、本市を取り巻く状況の変化を踏まえ、市民ぐるみのスポーツ振興を図るため、スポーツ振興法に基づく「21世紀におけるスポーツ振興マスタープラン」を見直し、新たな計画を策定します。

（計画に盛り込むべき事項）

生涯スポーツの振興方策

競技力向上方策・社会体育施設の整備充実

学校体育施設など公共的体育施設の活用 など

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
市民アンケート調査 原案策定 スポーツ振興審議会に諮問	スポーツ振興審議会答申 計画策定	

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
48万円	25万円
市民アンケート調査 原案策定 スポーツ振興審議会に報告	スポーツ振興基本計画（仮称）素案検討ワークショップでの素案の検討（提言書として取りまとめ） スポーツ振興審議会諮問・答申 計画策定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	当初、想定していたスケジュールからは、遅れていますが、市民アンケート調査・素案検討ワークショップの提言書等を踏まえ、平成21年度中に計画の策定ができる予定です。

南部地域体育施設（仮称）整備事業	スポーツ振興課
	事業費（計画額） 40万円
	事業費（実績額） 6万円

※事業費（計画額）は平成20～21年度のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

合併協議に基づく、香川町、香南町のまちづくりプラン（建設計画）における重点取組み事項として位置付けられている「南部地域における特色あるスポーツ施設の整備」について、市域全体のスポーツ施設のバランスと効果的な連携を念頭に、整備内容を検討します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
スポーツ振興審議会に諮問	スポーツ振興審議会審議結果を踏まえ対応	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
6万円	—
整備に当たっての基本的な考え方を取りまとめ、スポーツ振興審議会 で説明（委員10名、2回開催） 地域審議会 パブリック・コメントの実施	地域審議会、スポーツ関係団体に説明（3回）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
D	平成21年度中に基本構想を取りまとめる予定でしたが、地元との協議等に時間を要しているため、当初予定していたスケジュールより遅れています。

屋島陸上競技場整備事業	スポーツ振興課	
	事業費（計画額）	未定
	事業費（実績額）	853万円

《 事業概要 》

市民ぐるみのスポーツ振興や、スポーツを通じた健康増進・住民相互の交流等の推進を図るため、本市で唯一の公認陸上競技場で、県からの移管を受ける県立屋島陸上競技場について、現施設の老朽度、施設・設備の整備状況等を踏まえ、基本構想を策定し、基本構想に基づき、整備を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
施設を県から移管 基本構想策定 スポーツ振興審議会の開催	基本構想に基づく事業実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
20万円	833万円
基本構想検討懇談会開催 （委員10名、5回開催） スポーツ振興審議会開催 （委員10名、2回開催） 基本構想策定	スポーツ振興審議会開催 （委員10名、2回開催） 基本計画策定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	平成21年8月に取りまとめた再整備基本計画案について、市議会を始め、幅広く市民の意見を聴取しており、基本計画の策定が遅れていますが、地元説明会やパブリックコメントの意見等を踏まえ、21年度中に計画の策定ができる予定です。

地域密着型トップスポーツチーム支援事業	スポーツ振興課
	事業費（計画額） 1,320万円
	事業費（実績額） 680万円

《 事業概要 》

本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るため、地域密着型トップスポーツチーム（複数の都道府県にまたがって活動するリーグに所属し、地域に拠点を置くプロもしくはこれに類したスポーツチーム）を支援します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
観客動員支援 県営野球場へのシャトルバス 運行補助 親子等の観戦招待 （バスケットボール） 市有施設使用に係る支援 チームのPR	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
410万円	270万円
観客動員支援 県営野球場へのシャトルバス 運行補助 親子等の観戦招待 （バスケットボール） 香川プロスポーツ連絡協議会の PRイベント等の経費負担 市有施設使用に係る支援（優先使 用、使用料の減額） チームのPR	練習、教室の施設使用料の補助 県営野球場へのシャトルバス運 行補助 香川プロスポーツ連絡協議会の PRイベント等の経費負担 市有施設使用に係る支援（優先使 用、使用料の減額） チームのPR

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	当初計画していた事業が、予定どおり実施でき、スポーツの振興が図られました。

学校施設緑化事業	教育部総務課
	事業費（計画額） 1,160万円
	事業費（実績額） 968万円

《 事業概要 》

子どもたちの緑化意識を育み、環境学習の場となる、環境に配慮した学校施設を目指すとともに、次代を担う児童・生徒の運動・体力不足を解消し、たくましく心豊かな子どもたちの育成を図るため、校庭の一部を芝生化するなど、学校施設の緑化を進めます。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
学校内緑化事業（小学校1校） 小学校芝生化（3,000㎡） 維持管理費（小学校1校）	未定

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
9,676万円
牟礼北小学校緑化事業 校庭芝生化（3,000㎡） 芝代、灌水設備、芝刈り機等

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	灌水設備、芝の植付、育成、管理とも予定どおり進捗しており、児童の外遊びが増えるなど効果が出ています。

牟礼公民館耐震化等事業	生涯学習課
	事業費（計画額） 435万円
	事業費（実績額） 277万円

《 事業概要 》

災害時の避難所としての機能強化を図るため、耐震診断の結果、地震時に倒壊の危険性がある牟礼公民館について、耐震化を図るとともに、整備後28年が経ち、老朽化が進んでいる空調設備について、改修工事を行います。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
耐震化実施設計 空調設備改修実施設計	耐震化工事 空調設備改修工事

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
277万円
耐震化実施設計業務委託 空調設備改修実施設計業務委託

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	耐震化等実施設計業務について、業者に委託し、今年度中に完了する見込みです。

スクールカウンセラー配置事業	高松第一高等学校	
	事業費（計画額）	100万円
	事業費（実績額）	51万円

《 事業概要 》

不登校傾向人間関係など、生徒、保護者の悩みに対して早期の対応を図るため、生徒へのカウンセリングおよび保護者、教職員に対する助言・援助を行うスクールカウンセラーを配置します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
スクールカウンセラー配置	継続実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
51万円
相談回数 35回/年 4時間/回

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	スクールカウンセラーによる生徒へのカウンセリングおよび保護者、教職員に対する助言・援助など、計画どおり実施できています。

デリバリーアーツ事業	国際文化振興課	
	事業費（計画額）	1,420万円
	事業費（実績額）	804万円

《 事業概要 》

市民が身近なところで生の優良な文化芸術に触れる機会を提供するため、出演者の経費を市が負担し、会場準備や観客動員を市民が担当することにより、行政と市民との協働事業として、公民館や公園など市民の希望するところに、アンサンブル、邦楽、現代舞踊、演劇などの文化芸術を出前します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
デリバリーアーツの実施（17箇所） 7メニュー （音楽、落語、演劇、ダンスなど）	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
404万円	400万円
クラシック音楽会、落語、舞踊劇、影絵劇など、7メニュー、18事業	クラシック音楽会、和太鼓演奏、サヌカイト演奏、ミュージカル落語など、7メニュー、16事業

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	市民が身近なところで生の優良な文化芸術に触れる機会の提供として、当初の予定を上回る開催回数を確保できました。

高松市美術館開館20周年記念事業	美術館美術課	
	事業費（計画額）	1,490万円
	事業費（実績額）	1,460万円

《 事業概要 》

平成20年8月に開館20周年を迎える高松市美術館の記念事業として、収蔵品展、Talk & Act、ミュージアムライブ、サヌカイトコンサートの開催や収蔵品図録の作製を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
開館20周年記念事業の実施 収蔵品展の開催 「Talk&Act」の開催 ミュージアムライブの開催 サヌカイトコンサートの開催 高松市美術館収蔵品図録Ⅳの作製	/	/

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1,460万円	/
開館20周年記念事業の実施 収蔵品展の開催（7月25日～9月7日、39日間7,313人） 「Talk&Act」の開催（3月14・15・21・22日 505人） 結城美栄子朗読会の開催（6月28日 209人） サヌカイトコンサートの開催（11月1日 245人） 高松市美術館収蔵品図録Ⅳの作製（1,500部）	/

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	視覚以外の様々な感覚に訴えるユニークな現代アート作品から「音」を表現手段にした作品を取り上げた展覧会を始め、エントランスホール、講堂でのコンサートやシンポジウム等を開催し好評を博しました。

国分寺地区文化施設整備事業	国際文化振興課	
	事業費（計画額）	20万円
	事業費（実績額）	3,122万円

※事業費（計画額）は平成20年度のみ掲載 平成21年度以降は未定

《 事業概要 》

国分寺会館との連携を考慮する中で、高松西部地域の文化活動等の拠点となる施設を整備するため、平成20年度において、国分寺地区文化施設整備検討委員会を開催し、全市的な視点に立って、施設の機能や規模等を検討します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
国分寺地区文化施設整備検討委員会の開催（3回）	検討委員会の検討結果を踏まえ対応	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
14万円	3,108万円
国分寺地区文化施設整備検討委員会開催（3回） 整備基本構想策定	基本設計・実施設計

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	平成21年2月に基本構想を策定し、これに沿った設計を実施しています。

<small>やしまのき</small> 屋嶋城城門遺構整備事業	文化財課	
	事業費（計画額）	7,630万円
	事業費（実績額）	3,484万円

《 事業概要 》

日本書紀に西暦667年に築造されたと記述があり、これまでに発見されている全国20数例の城門遺構の中でも規模や構造面において類例の少ない特長ある遺構として注目度が高い、古代山城「屋嶋城」の城門遺構の保存・整備を図るため、城門側壁や石墨石積の解体・復元を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
整備検討委員会の開催 石積解体設計監理 城門南側石垣石積一部解体工事	整備検討委員会の開催 石積解体設計監理 城門南側石垣石積残部および城門南半部側壁石積解体工事	整備検討委員会の開催 石積復元設計監理 石積復元工事 (20年度～21年度解体部分) 竣工後現況写真測量

《 事業実績等 》

平成20年度 (執行額等)	平成21年度 (H22.3 未見込額等)
1,484万円	2,000万円
整備検討委員会の開催 (1回) 城門南側石垣落石等撤去工事 工事設計監理業務 地質調査	整備検討委員会の開催 (2回) 城門南側石垣解体工事 (城門南半側壁を含む) 工事設計監理業務

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	貴重な文化財である屋島城跡を保存するため、関係機関や関係者と協力しながら、事業計画どおりに進んでいます。

“瀬戸の都・高松” 石彫トリエンナーレ2009	国際文化振興課
	事業費 (計画額) 2,700万円
	事業費 (実績額) 2,400万円

《 事業概要 》

国内外の作家が石彫を制作・展示し、若手作家の育成と市民の芸術作品に触れる場の提供により、本市の文化振興に寄与するため、全国有数の石材産地である高松市の牟礼地区・庵治地区を中心に石彫コンクールを開催します。

(コンクールの概要)

第1次審査 書類審査

第2次審査 模型作品による現物審査 (入賞作品30点展示)

入賞者3人、招待作家1人の計4人は、作品を実制作し、高松市立房前公園に展示

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
コンクール・審査 入賞作品展示 入賞者・招待作家実制作 式典開催 実制作作品展示 その他	

《 事業実績等 》

平成21年度 (H22.3末見込額等)
2,400万円
コンクール (応募数 149 点) 審査 (一次 50 点選出、二次 29 点選出) 入賞・入選作品展示 (30 点、招待含) 入賞・招待作家実物制作、4 名 作品完成記念式 (作品解説等) 実物作品展示 (房前公園) その他 (関連イベント、模型作品写真展、座談会、ツアー等)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	今回から、従来の開催方法を見直し、名称を変更するとともに事業内容もリニューアルし、より芸術性の高いものとして実施できました。コンクールには、これまでで最高の149点の応募があり、外国応募は約10倍となり、国内外への効果的な情報発信を行うことができました。

瀬戸内国際芸術祭推進事業	国際文化振興課	
	事業費（計画額）	7,000万円
	事業費（実績額）	3,500万円

全体事業費（計画額）は概算

《 事業概要 》

文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、平成22年（2010年）に、県、関係市町および福武地域振興財団等が中心となり、直島、豊島、女木島、男木島、大島など、瀬戸内の島々を主会場として開催します。

平成21年度は、イベントとして、シンポジウムやアートイベントを実施し、平成22年7月19日（月）「海の日」から10月31日（日）まで、芸術祭を開催します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
シンポジウム「瀬戸内トーク」の開催 アートイベント 事前ツアーの実施	7月19日（月）「海の日」から10月31日（日）まで開催

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
3,500万円
瀬戸内国際芸術祭実行委員会において、アートサイトの整備、交通対策、およびサポーター体制などについて、準備を進めた。

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	開催に向けたスケジュールに沿って準備を行いました。

環境リーダー養成事業	環境保全推進課	
	事業費（計画額）	200万円
	事業費（実績額）	—

《 事業概要 》

地球温暖化防止を始め、環境保全への理解と取組の意欲を高めるため、環境情報の提供、学校教育および生涯学習における環境教育・学習の充実など、市民の自発的な環境行動を支援する環境リーダーを養成します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
他都市の講座内容等の状況調査 環境リーダー養成事業実施要綱 等の策定	環境リーダー養成講座受講者の 公募（20人程度） 環境リーダー養成講座の開催 （年間10回程度）	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
—	—
他都市の講座内容等の状況調査	環境リーダーの役割や具体的な活動内容そのものを明確にするための他都市の状況調査

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
D	環境リーダーの役割や具体的な活動内容の検討に時間を要し、事業の進捗が図れませんでした。

住宅用太陽光発電システム設置補助事業	環境保全推進課
	事業費（計画額） 9,000万円
	事業費（実績額） 1億3,310万円

《 事業概要 》

地球温暖化防止対策の一環として、環境負荷の低減を図るため、日照時間が長いという本市の地域特性をいかした、住宅用太陽光発電システムの導入を促進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
住宅用太陽光発電システム設置 経費の一部補助 [補助単価] 5万円/kw (上限20万円×150件)	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
3,295万円	1億15万円
補助件数 193件	補助件数 552件

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	住宅用太陽光発電システムの導入促進については、地球温暖化に対する市民の意識の高まりや、国が平成21年1月13日から補助制度を復活したことを始め、新たな電力の買取制度が11月から開始されたことにより、想定を上回る結果となりました。

レジ袋削減推進事業	環境保全推進課
	事業費（計画額） 40万円
	事業費（実績額） 225万円

《 事業概要 》

環境負荷の少ない循環型社会を構築し、地球温暖化を防止するため、ごみの発生抑制に向けた取組として、事業者と消費者団体、高松市の3者による、レジ袋削減に向けた取組に関する協定を締結し、レジ袋の削減を推進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業者と消費者団体、高松市の3者による協定書の締結 広報紙・ホームページ等による協定締結事業者の活動支援 広報紙・ホームページ・啓発用ポスター等による市民への啓発	協定参加事業者の拡充 広報紙・ホームページ等による協定締結事業者の活動支援 広報紙・ホームページ・啓発用ポスター等による市民への啓発	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
42万円	183万円
平成20年12月1日に11事業者と6市民団体、高松市の3者による「レジ袋等の削減に関する協定」の締結	広報紙・ホームページ・啓発用ポスター等による市民への啓発および事業者、市民団体、高松市の3者によるレジ袋等の削減に関する意見交換会の開催 レジ袋の削減推進キャンペーンの実施

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	買い物袋の持参率が協定当初の12.2%から平成21年8月には19.0%と6.8ポイント上がりました。

ごみ減量推進事業（家庭系、事業系）	環境保全推進課
	事業費（計画額） 3,800万円
	事業費（実績額） 2,721万円

《 事業概要 》

家庭系、事業系ごみの減量およびリサイクルを推進し、持続可能な循環型社会を形成するため、ごみ分別ガイドブックやごみ収集カレンダー等による啓発を行うとともに、生ごみ堆肥化機械・容器の購入補助や地球にやさしいオフィス登録制度の見直し、多量排出事業者の実態調査などを行い、ごみの減量を推進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
ごみ分別ガイドブックやごみ収集カレンダー等での啓発 生ごみ堆肥化機械・容器の購入補助および補助対象者条件の見直し [購入補助] 堆肥化機械 @20,000円×400基 堆肥化容器 @3,000円×400基 地球にやさしいオフィス登録制度の見直し(アンケート実施) 多量排出事業者(3,000㎡以上)の実態調査および減量計画の提出要請	ごみ分別ガイドブックやごみ収集カレンダー等での啓発 生ごみ堆肥化機械・容器の購入補助 多量排出事業者(3,000㎡以上)に対して減量計画の提出要請	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度(執行額等)	平成21年度(H22.3末見込額等)
1,301万円	1,420万円
ごみ分別ガイドブック、ごみ収集カレンダーの作成・配布 生ごみ堆肥化機械・容器の購入補助 地球にやさしい店・オフィス登録制度の見直し 多量排出事業者の実態調査	ごみ分別ガイドブック、ごみ収集カレンダーの作成・配布 生ごみ堆肥化機械・容器の購入補助 地球にやさしい店・オフィス登録 多量排出事業者の「事業系一般廃棄物減量等計画書」提出指示

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	家庭系ごみの減量化を推進するとともに、事業系ごみにおいては、事業者に対するごみの減量・資源化への意識啓発を図りました。

安原地区香東川親水ゾーン整備事業	環境総務課環境施設対策室
	事業費(計画額) 1億40万円
	事業費(実績額) 8,245万円

《 事業概要 》

南部クリーンセンター整備に伴う周辺生活環境整備事業として、塩江町安原地区の活性化と自然環境の保全を図るため、香東川周辺を潤いとやすらぎの親水ゾーンとして整備します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
多目的道路整備 〈松風橋～観月橋 140m〉 お地藏様広場整備 上中徳公園（仮称）整備 多目的道路用地取得 〈松風橋～観月橋〉 土地改良事業による水路等の整備	多目的道路整備（松風橋～観月橋） 多目的道路等の測量設計 〈音川地区〉 多目的道路用地取得〈音川地区〉 土地改良事業による水路等の整備	多目的道路整備工事 〈音川地区〉 多目的道路等の測量設計 〈関～音川地区〉 多目的道路用地取得 〈関～音川地区〉 土地改良事業による水路等の整備

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
3,622万円	4,623万円
多目的道路整備（松風橋～観月橋） 塩江町安原公園整備 多目的道路用地取得〈松風橋～観月橋〉 土地改良事業による水路等の整備	多目的道路整備（松風橋～観月橋） 多目的道路等の測量設計〈音川・関地区〉 多目的道路用地取得〈音川地区〉 土地改良事業による水路等の整備

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	お地藏様広場の整備は中止になりましたが、多目的道路、塩江町安原公園の整備については、計画どおり進んでおり、地区の活性化と自然環境の保全を図ることができました。

不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦事業	環境指導課
	事業費（計画額） 40万円
	事業費（実績額） 10万円

《 事業概要 》

地域の環境美化と不法投棄撲滅に向けた住民の意識啓発を図るため、山間部や海岸線などの広範囲にわたる不法投棄が見られる地域において、住民と行政が協働して、不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦を実施します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦の実施 広報紙・ホームページ等による参加者の拡充 不法投棄防止の啓発	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
3万円	7万円
市内6地区（庵治海岸線、塩江、エアポート、牟礼、屋島、庵治山間部） 参加者合計 6,000人 ごみ回収量 44トﾝ	市内7地区（庵治海岸線、塩江、エアポート、牟礼、植田、屋島、庵治山間部） 参加者合計 6,500人 ごみ回収量 40トﾝ

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	地区衛生組合等が中心となって、地区住民やボランティアと市が協働の下、不法投棄ごみの回収を行い、地域の環境美化推進と市民の環境意識の向上に寄与しました。

高松水環境会議事業	企画課水環境対策室
	事業費（計画額） 590万円
	事業費（実績額） 456万円

《 事業概要 》

水をめぐる各種施策の連携を図るため、海、川、ため池、上下水道など水に関わる様々な関係者により設置した「高松水環境会議」において、水質・水辺・水源・水利用など水環境の個別課題について協議し、取組方針等を取りまとめます。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
水環境会議の開催 部会（4部会）活動の実施 取組方針等の取りまとめ（中間） 水環境の調査（現状、分析）	水環境会議の開催 部会（4部会）活動の実施 取組方針等の取りまとめ 報告書作成 水環境シンポジウム（成果報告） 開催	

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
155万円	301万円
水環境会議の開催 3回開催 ワーキンググループ活動会議（3部会） 延べ 14回開催 水環境の研究調査委託（翌年度へ繰越）	水環境会議の開催 4回開催 ワーキンググループ活動会議（3部会） 延べ 10回開催 ワーキンググループ活動報告書提出 水環境の研究調査委託の成果報告提言書（取組方針等）の提出 水環境シンポジウムの開催

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	水環境の研究調査の委託を行うとともに、水環境会議から、水環境の個別課題についての取組方針等を取りまとめた提言書が、平成22年2月に市長に提出されました。

再生水利用下水道事業	下水道建設課	
	事業費（計画額）	7,840万円
	事業費（実績額）	4,360万円

《 事業概要 》

貴重な水資源の有効利用を図り、水の循環利用を推進するため、再生水利用下水道の整備を行います。

（整備内容）

- ・再生水管の計画的な整備継続
- ・再生水利用量の増加に対応するため、東部下水処理場内再生水処理施設増設の実施設計に着手

（整備状況）

- ・平成18年度末現在
52施設（旧牟礼町6施設を含む）に供給

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
再生水管渠整備 延長130m	再生水管渠整備 再生水管実施設計	再生水管渠整備 再生水処理施設実施設計

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1,960万円	2,400万円
再生水管渠整備 延長136m	再生水管渠整備 延長129m 再生水管実施設計 全体計画作成業務

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	本事業は、計画どおり事業が進捗しており、水の循環利用と節水の推進に寄与しています。

節水キャンペーン「我が家の水がめづくり」事業	企画課水環境対策室	
	事業費（計画額）	100万円
	事業費（実績額）	55万円

《 事業概要 》

節水および節水意識の高揚を図るため、節水に関する各種情報提供や啓発活動、節水キャンペーンの実施、雨水貯留タンク等の普及促進に努め、未来に使える水を市民および事業所が「つくる」取組を推進します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
節水強化月間（6～8月） 家庭でできる節水方法等の周知・啓発活動，節水キャンペーンの実施，雨水貯留タンク等の普及促進	継続実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
55万円
節水キャンペーンの実施 家庭での節水 394件の応募 事業所での節水 47件（176事業所）の応募 節水キャラクターの募集 213件の応募があり、高松市の節水キャラクターとして「タメット」を決定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	節水キャンペーンの実施により、本市全体の第3期分の水道使用水量が前年同期比で約3.2%節減され、節水啓発が図れるなど順調に進んでいます。

太陽熱利用システム設置費補助事業	環境保全推進課	
	事業費（計画額）	300万円
	事業費（実績額）	20万円

《 事業概要 》

地球温暖化防止対策の一環として、環境負荷の低減を図るため、日照時間が長いという本市の地域特性をいかした太陽熱利用システム（不凍液等を強制循環する太陽集熱器と蓄熱槽から構成され、温水、冷暖房等に利用）の導入を促進します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
太陽熱利用システム設置経費の一部補助 [補助金の額] 対象経費（集熱器、架台、蓄熱層および付帯機器、配管・据付工事に係る費用の合計）に10分の1を乗じて得た額（上限5万円×30件）	継続実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
20万円
補助件数4件

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	国が太陽光発電システム設置の導入を促進するに当たり、補助制度を復活したことや、新たな電力の買取制度を開始したため、給湯器に対する市民ニーズにおいて、太陽熱を利用したシステムより発電を利用したエコキュート（国の補助制度有り）が高くなっていることなどから、普及促進に至りませんでした。

緑のカーテンづくり事業	保育課
	事業費（計画額） 360万円
	事業費（実績額） 184万円

《 事業概要 》

保育所における保育環境を向上させるとともに、空調等の電力エネルギー節約に努めるなど、地球温暖化防止に役立てるため、伸びたツルや葉で夏の日差しを遮る「緑のカーテン」づくりをします。

- ・緑化に適した植物を栽培することで、子どもたちが植物（緑）に興味関心を持ち、栽培の喜びを味わいます。
- ・保育所の地域性を生かし特色のある緑化事業が展開できるよう地域との連携を密にし、緑あふれるまちづくりを推進します。
- ・ホームページで保育所の緑化に関する取組みと効果を紹介するなど、情報提供に努め、緑化の輪を広げます。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
ゴーヤ、ひょうたん、オーシャンブルー、芝生などの植物を計画的に栽培 （実施施設） 公立20保育所 私立17保育所（事業費補助）	継続実施 （実施施設） 公立17保育所 私立18保育所（事業費補助）

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
184万円
ゴーヤ、ひょうたん、オーシャンブルーなどの植物を計画的に栽培 （実施施設） 公立20保育所 私立17保育所（事業費補助）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	計画どおり実施できています。

高松クリーンデー “たかまつきれいでー” の実施	環境指導課適正処理対策室
	事業費（計画額） 40万円
	事業費（実績額） 9万円

《 事業概要 》

清潔で美しい高松を実現するとともに、環境意識の高揚を図るため、10月の環境美化月間中に、清掃活動の重点日を「高松クリーンデー “たかまつきれいでー”」として設定し、広く、市民、企業、ボランティアおよび市が協働して、市内全域を清掃します。

なお、同じく環境月間中に実施している、「清掃キャンペーン」は「高松クリーンデー “たかまつきれいでー”」に包含します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
「高松クリーンデー “たかまつきれいでー”」に、市内全域の清掃活動を実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3未見込額等）
9万円
日 時 10月25日（日） 午前8時30分～10時 参加者 約54,000人 （35地区衛生組合、10企業、23各種団体） 回収量 約49ト

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	地区衛生組合、企業、各種団体等多くの市民の参加を得て、市内のほぼ全域で清掃活動を実施し、地域の環境美化推進と市民の環境意識の向上に寄与しました。

「いざ里山」市民活動支援事業	農林水産課	
	事業費（計画額）	420万円
	事業費（実績額）	117万円

《 事業概要 》

市内に点在する、メサやビュートと称される、高松の特色ある里山を保全するとともに、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりのため、地域住民、ボランティア団体、NPOおよび企業等が行う、市街地近郊の整備・保全可能な里山について、市民活動団体の設立や活動を支援するものです。

・活動支援予定箇所

- ①日山 ②堂山・六ツ目山 ③浄願寺山 ④峰山・紫雲山 ⑤勝賀山 ⑥由良山
⑦久米山 ⑧薬師山

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
ボランティア団体等と「いざ里山」保全活動協定（仮称）を締結し、里山保全活動を支援する。	継続実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3未見込額等）
117万円
支援協定締結 ボランティア団体等による里山の除草・清掃等の活動に助成（1.75ha）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	支援予定箇所で活動するボランティア団体等と協定を締結し、各種団体による里山の保全・整備活動を推進しています。

美しい森林づくり整備助成事業	農林水産課	
	事業費（計画額）	670万円
	事業費（実績額）	614万円

《 事業概要 》

造林補助事業の採択要件が緩和されたことにより、竹林整備を伴った造林事業が実施できるようになったため、造林事業者が行う荒廃竹林伐採、地拵え、植栽、下刈等の造林事業に対して助成を行い、地球温暖化防止や水源涵養に役立つ美しい森林づくりを進めるものです。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
美しい森林づくり整備助成事業 (竹林整備：2.0ha)	美しい森林づくり整備助成事業 (竹林整備：1.0ha、植栽：2.0ha)

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
614万円
荒廃竹林の整備：3.6ha

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	山林所有者の経費負担の軽減を図るため、新たに制度化された国の緊急雇用創出事業を活用した「荒廃竹林整備事業」を創設し、竹林整備を伴った造林事業に取り組みました。

道路整備事業	道路課	
	事業費（計画額）	7億1,950万円
	事業費（実績額）	8,883万円

《 事業概要 》

地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境を創出するため、日常生活を支え、人々が快適に暮らすことのできる生活道路の整備を進めます。

【2車線（道路幅員6.5m）以上の道路整備事業】

- ・香川町 中坪寺井線 延長400m 幅員10.0m 向坂宮下線 延長900m 幅員10.0m
- ・香南町 香川綾南線 延長450m 幅員9.5m 城渡吉光線 延長1,800m 幅員7.0m
下川原北線 延長470m 幅員10.0m
- ・庵治町 丸山湯谷線 延長1,240m 幅員14.0m
- ・牟礼町 屋島線（高橋）延長295m 幅員15.0m
- ・春日町 新川西堤防線 延長557m 幅員6.5m

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
中坪寺井線 調査 向坂宮下線 調査 香川綾南線 測量 屋島線（高橋） 調査 新川西堤防線 改良工事	中坪寺井線 向坂宮下線 香川綾南線 丸山湯谷線 屋島線（高橋） 新川西堤防線	中坪寺井線 向坂宮下線 香川綾南線 城渡吉光線 丸山湯谷線 屋島線（高橋） 新川西堤防線

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
3,100万円	5,783万円
新川西堤防線：改良工事 香川綾南線：測量	新川西堤防線：改良工事 下川原北線：設計 中坪寺井線、向坂宮下線、城渡吉光線、屋島線（高橋）：調査

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	本事業は、交通量調査等による道路規格などの計画の見直しや関係者との調整に期間を要したため、事業の進捗が遅れています。

橋梁改築修繕事業	道路課
	事業費（計画額） 1,190万円
	事業費（実績額） 452万円

《 事業概要 》

高度経済成長期において建設され、老朽化しつつある橋梁について、適正な維持管理やコスト削減を図るため、橋梁の長寿命化のための修繕計画を策定するとともに、その計画に基づき、順次橋梁の点検および改築等を行います。

対象となる橋梁は、約1,500橋あり、そのうち、橋長10m以上を有する、225橋について、橋梁台帳の整備、長寿命化修繕計画策定を行うとともに、順次、橋梁の点検および改築工事等に着手します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
橋梁台帳整備 164橋 (橋長15m以上)	橋梁台帳整備 61橋 (橋長10m以上15m未満) 長寿命化修繕計画策定 (平成21年度～23年度)	長寿命化修繕計画策定 橋梁の点検・改築工事

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
452万円	—
橋梁台帳整備 (橋長10m以上229橋)	橋梁点検及び長寿命化修繕計画策定に着手(橋長10m以上229橋)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	本事業は、橋長10m以上の橋梁長寿命化修繕計画の策定について、平成21年度に着手するなど、予定どおり事業が進捗しています。

高松市緑の基本計画策定事業	公園緑地課	
	事業費（計画額）	1,050万円
	事業費（実績額）	728万円

《 事業概要 》

自然と人間の共生する緑豊かな都市環境の形成を図り、健康で文化的な生活環境を確保するため、合併による市域の拡大や新しい都市計画マスタープランなどを踏まえ、緑地の保全と都市緑化の推進に関する基本的な事項を定める新たな緑の基本計画を策定します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
緑の基本計画策定委員会開催 市民アンケート調査の実施 現況と課題のとりまとめ	緑の基本計画策定委員会開催 緑の目標量、配置方針の設定 緑の基本計画報告書作成	/

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
248万円	480万円
緑の基本計画策定 （市民アンケート調査）	緑の基本計画策定 （緑の目標量・配置方針の設定・報告書策定） 緑の基本計画策定委員会 （委員12名、5回開催）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、専門家や一般市民で構成される緑の基本計画策定委員会の開催やアンケート調査などにより、緑地の保全や都市緑化の推進方策の検討が進んでおり、平成22年度当初の計画策定に向け、概ね順調に進捗しています。

東部運動公園整備事業	公園緑地課
	事業費（計画額） 20億8,120万円
	事業費（実績額） 8億915万円

《 事業概要 》

市民が気軽に利用でき、健康増進に資するスポーツ・レクリエーション活動の場を提供するため、多目的広場、トリム広場および野球広場等を備えた運動公園を、県道高松志度線に面した高松町の丘陵地に整備します。平成26年度全面供用開始予定。

（整備内容）

- ①多目的広場（サッカーグラウンド1面、フットサルコート2面）
- ②トリム広場（児童遊具エリア、健康運動エリア、休憩施設エリア）
- ③野球広場（軟式野球場1面、ソフトボール場2面）
- ④スポーツ広場（サッカーグラウンド1面）
- ⑤弓道・アーチェリー場（遠的用）
- ⑥修景園地（備蓄倉庫等）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
用地購入 基盤整備 施設整備（野球広場）	用地購入 基盤整備 施設整備（野球広場）	用地購入 基盤整備 施設整備（スポーツ広場）

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1億6,477万円	6億4,438万円
用地購入 基盤整備 施設整備（野球広場）	基盤整備 施設整備（野球広場・駐車場）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、平成20、21年度で、野球広場の整備を実施するなど、26年度の全面供用に向け、順調に事業が進捗しています。

高潮等関連整備事業	河港課	
	事業費（計画額）	5億1,000万円
	事業費（実績額）	4億3,990万円

《 事業概要 》

平成16年度の台風による高潮被害を踏まえ、高潮による浸水被害を最小限に抑えるため、市管理の港湾・漁港内施設に胸壁、陸こう等を整備するものです。

なお、香川県津波・高潮対策整備推進アクションプログラムに基づき、計画的な浸水被害の解消を図るものです。

高松漁港	H20～H22	280,000（千円）	延長	1,813m
庵治漁港	H20～H22	170,000（千円）	延長	1,325m
房前漁港	H20～H21	20,000（千円）	延長	16.1m
亀水漁港	H20～H21	40,000（千円）	延長	348.2m

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
防潮堤等整備 L=1,158m (内訳)	防潮堤等整備 L=1,231.3m (内訳)	防潮堤等整備 L=1,113m (内訳)
高松漁港 L=600m	高松漁港 L=600m	高松漁港 L=613m
庵治漁港 L=400m	庵治漁港 L=425m	庵治漁港 L=500m
房前漁港 L=8m	房前漁港 L=8.1m	
亀水漁港 L=150m	亀水漁港 L=198.2m	

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1億4,734万円	2億9,256万円
防潮堤等整備 L=1,114.4m (内訳) 高松漁港 L=524.9m 庵治漁港 L=430.4m 房前漁港 L=6.0m 亀水漁港 L=153.1m	防潮堤等整備 L=1,217.6m (内訳) 高松漁港 L=834.6m 庵治漁港 L=269.4m 房前漁港 L=92.6m 亀水漁港 L=21.0m

注) 亀水漁港 平成21年度完了（整備延長：設計による防護延長見直しにより減。）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、関係者との施工協議などに期間を要しましたが、香川県津波・高潮対策整備推進アクションプログラムに基づき、概ね順調に進捗しています。

合併処理浄化槽設置整備事業	下水道管理課	
	事業費（計画額）	15億6,580万円
	事業費（実績額）	6億5,707万円

《 事業概要 》

台所などからの生活排水の処理を行い、川や海などの水質が汚濁されることを防止するため、原則として、下水道事業計画区域外において自己の専用住宅に合併処理浄化槽を設置する費用に対し補助を行うほか、単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽への転換について、単独処理浄化槽を撤去する費用に対し補助を行います。

（補助内容）

- ・新設（5人槽の場合） 国庫補助基準額 332,000円／基
- ・転換（10人槽以下の単独処理浄化槽） 補助限度額 100,000円／基

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
新設／1,144基 転換／50基	新設／1,265基 転換／100基	新設／1,285基 転換／120基

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
3億5,259万円	3億448万円
新設 917基 転換 13基	新設 834基 転換 20基

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、新設基数が計画目標を達成していませんが、下水道未整備区域における浄化槽の普及率は順調に伸びていることから、事業目的である公共用水域の生活排水処理対策は、概ね順調に達成されています。

汚水施設整備事業	下水道建設課
	事業費（計画額） 128億5,930万円
	事業費（実績額） 87億 857万円

《 事業概要 》

公共用水域の水質保全と、人々が健康で快適に暮らせる生活環境を創出するため、汚水施設の計画的な整備を行います。

（整備内容）

- ・汚水量の増加に対応するための東部下水処理場の設備増設
- ・市域西南部地区を中心とする幹線ならびに面整備の推進
- ・県が施行する香東川流域下水道事業に対する負担金の支出

（整備状況）

- ・平成18年度末現在

事業計画区域 6,424.6ha、整備済面積 4,466.5ha

処理区域内人口 233,610人、下水道普及率は55.3%（行政区域内人口 422,428人）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
汚水管渠整備 φ150～800mm L=46,926m 仏生山、円座汚水幹線 面整備（太田、鶴尾、郷東、 香西、鬼無、一宮、 円座、庵治、牟礼、 香川、国分寺、香南） 香東川流域下水道建設負担 普及率目標 58.1%	下水処理場水処理機械・電気設備 増設 汚水管渠整備 φ150～800mm 仏生山汚水幹線 面整備（太田、鶴尾、仏生山、 一宮、円座、成合、 庵治、牟礼、香川、 国分寺、香南） 香東川流域下水道建設負担 普及率目標 59.2%	下水処理場汚泥処理施設整備 汚水管渠整備 φ150～800mm 仏生山汚水幹線 面整備（太田、鶴尾、仏生山、 一宮、円座、成合、 庵治、牟礼、香川、 国分寺、香南） 香東川流域下水道建設負担 普及率目標 60.4%

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
40億3,878万円	46億6,979万円
汚水管渠整備 φ150～350mm L=41,215m 香東川流域下水道建設負担 普及率 57.7%	汚水管渠整備 φ200～350mm L=47,170m 香東川流域下水道建設負担 普及率目標 59.2%

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	本事業は、下水道普及率の目標を概ね達成しており、順調に事業が進捗しています。

浸水対策整備事業	下水道建設課
	事業費（計画額） 50億7,560万円
	事業費（実績額） 23億763万円

《 事業概要 》

安全で安心なまちづくりのため、下水道事業認可区域内の浸水被害を受けている地域において、雨水を速やかに排除するポンプ施設や雨水管渠の計画的な整備を行います。

（整備内容）

- ・平成16年の台風で甚大な浸水被害が発生した中心市街地において、中部バイパス第2および第3幹線ならびに福岡ポンプ場の増設に着手
- ・香西地区において、香西新開ポンプ場の建設継続と雨水幹線の実施設計に着手
- ・東山崎地区等において、雨水管渠の整備を実施

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
雨水管渠整備 川西排水区雨水渠 L=240m 東山崎第2・3雨水幹線 L=325m 仏生山第5雨水幹線 L=100m 中部バイパス第2幹線 L=460m 牟礼東部第4排水区雨水渠 L=90m 雨水ポンプ場 福岡ポンプ場低段ポンプ実施 設計 香西新開ポンプ場機械・電気 設備	雨水管渠整備 東山崎第2雨水幹線 仏生山第5雨水幹線 中部バイパス第2幹線 中部バイパス第3幹線 雨水ポンプ場 福岡ポンプ場 香西新開ポンプ場	雨水管渠整備 仏生山第5雨水幹線 中部バイパス第2幹線 中部バイパス第3幹線 香西第1雨水幹線 雨水ポンプ場 福岡ポンプ場 西部第2ポンプ場

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
10億3,322万円	12億7,441万円
雨水管渠整備 仏生山第5雨水幹線 L=163m 雨水ポンプ場 香西新開ポンプ場機械・電気設備 川西排水区雨水渠 L=261m 東山崎第3雨水幹線 L=165m 中部バイパス第2幹線 L=425m 福岡ポンプ場低段ポンプ実施設計	雨水管渠整備 東山崎第2雨水幹線 L=322m 中部バイパス第2幹線 L=550m 郷東第1排水区雨水渠 L=22m 雨水ポンプ場 香西新開ポンプ場機械・電気設備 馬ノロポンプ場機械・電気設備

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、平成21年度に集中して事業を実施した結果、概ね計画どおりに事業が進捗しています。

椴川ダム整備事業（水源地域整備事業）	河港課	
	事業費（計画額）	5億6,840万円
	事業費（実績額）	1億8,031万円

《 事業概要 》

- ・椴川ダム建設事業（県施行）

治水安全度の確保、流水の正常な機能の維持、新規水源開発および異常渇水時の緊急水補給など、本市の自己処理水源の確保を図るため、2級河川香東川の支流椴川に、香川県が施行する治水・利水・渇水機能を持つ多目的ダムの建設に対して、その経費の一部を負担します。完成時期（予定）は平成29年度。

- ・椴川ダム水源地域整備計画事業（水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備）

椴川ダムの建設により、総面積約38ha、住宅20戸が水没することとなり、周辺地域の生産機能や生活環境に多大な影響を与えるため、これらの影響を緩和し、関係住民の生活の安定と福祉の向上を図るため、土地改良事業、道路事業などの椴川ダム水源地域整備を計画的に実施します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
栂川ダム建設事業 調査設計（地質・水文・環境調査等）、用地補償、補償工事（付替道路） 栂川ダム水源地域整備計画事業 ほ場整備（実施設計、換地計画）、県道付替工事、県道改良工事、市道改良工事（野田大相線ほか2線）	栂川ダム建設事業 調査設計（地質・水文・環境調査等）、用地補償、補償工事（付替道路） 栂川ダム水源地域整備計画事業 ほ場整備（区画整理 6.0ha）、県道付替工事、県道改良工事、市道改良工事（北内中筋線ほか2線）	栂川ダム建設事業 調査設計（地質・水文・環境調査等）、用地補償、補償工事（付替道路） 栂川ダム水源地域整備計画事業 ほ場整備（区画整理 6.0ha）、県道付替工事、県道改良工事、市道改良工事（北内中筋線ほか1線）

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
8,618万円	9,413万円
栂川ダム建設事業 調査設計、用地補償、補償工事 栂川ダム水源地域整備計画事業 ほ場整備事業、県道付替工事、 県道改良工事、市道改良工事	栂川ダム建設事業 調査設計、用地補償、補償工事 栂川ダム水源地域整備計画事業 ほ場整備事業、県道付替工事、 県道改良工事、市道改良工事

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、定期的な地元説明会の開催により、栂川ダム建設事業、栂川ダム水源地域整備計画事業ともに、地元の理解と協力が得られ概ね順調に進んでいます。

水道配水管網整備事業	水道整備課
	事業費（計画額） 30億7,170万円
	事業費（実績額） 23億7,248万円

《 事業概要 》

安全で良質な水道水を安定給水するため、水道施設整備事業計画（平成17年～30年）に基づき、石綿セメント管や老朽管の更新、配水管が未整備の幹線道路への配水管の布設、災害等の非常時に備えたバイパス管の布設など、配水管網を整備します。

また、旧市域と合併地区との間の連絡管の布設や未給水地区の解消のための配水管の整備を計画的に行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
配水管布設工事 口径50～800mm 8,050m うち 未給水地区の整備 口径50～75mm 1,420m 合併地区連絡管布設工事 国分寺、牟礼・庵治、香川地区 口径75～150mm 2,030m 配水管布設替工事 口径75～500mm 6,845m 配水管布設(単独工事) 出水不良解消、下水関連、移設等 配水管布設(受託工事) キャブ工事等の移設	配水管布設工事 口径75～600mm 4,660m うち 未給水地区の整備 口径75～100mm 1,100m 合併地区連絡管布設工事 口径75～150mm 200m 配水管布設替工事 口径75～500mm 7,435m 配水管布設(単独工事) 出水不良解消、下水関連、移設等 配水管布設(受託工事) キャブ工事等の移設	配水管布設工事 口径75～600mm 6,700m うち 未給水地区の整備 口径75～100mm 1,100m 合併地区連絡管布設工事 口径75～150mm 700m 配水管布設替工事 口径75～500mm 7,805m 配水管布設(単独工事) 出水不良解消、下水関連、移設等 配水管布設(受託工事) キャブ工事等の移設

《 事業実績等 》

平成20年度 (決算額等)	平成21年度 (H22.3末見込額等)
8億5,809万円	15億1,439万円
配水管布設工事 口径50～800mm 2,809m 配水管布設替工事 口径50～500mm 4,559m 配水管布設(単独工事) 口径50～200mm 4,129m 配水管布設(受託工事) 口径300mm 58m	配水管布設工事 口径50～1000mm 11,077m 配水管布設替工事 口径50～500mm 17,008m 配水管布設(単独工事) 口径50～150mm 4,917m 配水管布設(受託工事) 口径75～400mm 415m 配水管布設(簡易水道) 口径75～150mm 298m

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	国の平成21年度第1次補正予算に伴い、追加対象事業となった老朽管更新事業を前倒して実施した結果、当初の計画以上に事業は順調に進捗しています。

自己処理水源確保事業（浄水場整備等）	浄水課
	事業費（計画額） 17億7,890万円
	事業費（実績額） 12億2,234万円

《 事業概要 》

水道水の安定給水のため、奥の池からの取水および奥の池周辺などでの地下水の取水により、新規自己処理水源の開発を行うとともに、新規水源に適合するように各浄水場の浄水施設の整備を行うなど、自己処理水施設の整備・充実を推進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
奥の池導水管布設工事 浅野浄水場排水処理施設築造および設備工事 岩崎取水所築造工事 高地区給水所整備事業 （浦生配水池）	奥の池導水管布設工事 室新町地区導水管布設工事 浄水場整備事業 浅野浄水場：排水処理施設築造 ほか施設整備事業 川添浄水場：薬品沈澱池改良工事 高地区給水所整備事業 （浦生配水池）	奥の池導水管布設工事 室新町地区導水管布設工事 香南町高区配水池増設工事 浄水場整備事業 浅野浄水場：浄水場管理本館築造ほか施設整備事業 川添浄水場：電気計装設備工事

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1億2,281万円	10億9,953万円
奥の池導水管布設工事 浅野浄水場排水処理施設築造および設備工事 岩崎取水所築造工事 高地区給水所整備事業 （浦生配水池）	奥の池導水管布設工事 ハゼ西公園深井戸さく井工事 浅野浄水場整備事業 （排水処理施設築造工事） （岩崎取水所更新工事） （着水井築造工事） 高地区給水所整備事業 （浦生配水池）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	川添浄水場薬品沈澱池改良工事以外は、概ね達成しています。

鉛管解消対策事業	給水維持課	
	事業費（計画額）	7億8,030万円
	事業費（実績額）	4億5,906万円

《 事業概要 》

水道法に基づく水質基準に関する省令の改正により、鉛に関する基準が強化されたことに伴い、鉛製給水管の早期の解消による水道水の安全性の向上が求められているため、鉛製給水管引替工事助成制度の利用促進を図るほか、漏水事故発生率の高い路線の鉛管取替工事および道路舗装工事や下水道工事等の機会を捉え鉛管の取替えを行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
鉛製給水管引替工事助成 鉛管取替 道路舗装工事や下水道工事等に 合わせて行う取替 取替件数合計 4,000件	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
1億9,895万円	2億6,011万円
鉛製給水管引替工事助成 鉛管取替 道路舗装工事や下水道工事等に 合わせて行う取替 取替件数合計 3,671件	継続実施

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	概ね計画した件数の鉛管取替を達成しています。

消防屯所整備事業	消防局総務課	
	事業費（計画額）	1億9,630万円
	事業費（実績額）	1億1,657万円

《 事業概要 》

効果的・効率的な消防団活動を推進するため、消防団員の活動拠点施設である市内95か所の消防屯所について、施設の老朽度等を勘案し、計画的な整備を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
前田分団第2部消防屯所整備 女木分団西浦消防屯所整備 十河分団消防屯所用地取得 林分団第1部消防屯所用地取得	消防屯所整備（3か所） 消防屯所用地取得（2か所）	消防屯所整備（3か所） 消防屯所用地取得（3か所）

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
5,347万円	6,310万円
前田分団第2部消防屯所整備 女木分団西浦消防屯所整備 十河分団消防屯所用地取得 林分団第1部消防屯所用地取得	下笠居分団第1部屯所整備 十河分団消防屯所整備 林分団第1部消防屯所整備 女木分団西浦消防屯所整備 前田分団第2部消防屯所整備 三谷分団第1部消防屯所整備 木太分団第3部消防屯所用地取得

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	概ね計画どおり進捗しており、計画的な施設整備を推進しています。

消防署所適正配置整備事業	消防局総務課	
	事業費（計画額）	15億7,170万円
	事業費（実績額）	13億8,219万円

《 事業概要 》

市街地の進展や合併による市域の拡大に適切に対応できる効果的な消防体制を構築するとともに、近い将来、発生が予想される東南海・南海地震等の災害に備え、防災拠点施設としての機能が十分に発揮できるよう、南消防署の移転整備など、消防署所の適正配置を図ります。

移転整備する南消防署は、消防施設と公共施設（地域防災拠点施設）の複合施設とし、移転整備に合わせ、管内太田・仏生山両出張所の南消防署への機能統合を図ります。

・南消防署

現 在 地：高松市東ハゼ町17番地8

移転整備先：高松市多肥下町806番地

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
新南消防署建設工事、監理業務委託 （南消防署庁舎） 地上5階建 延床面積 3,096 m ² （公共施設） 地上3階建 延床面積 1,097 m ²	新南消防署建設工事、監理業務委託 庁舎および公共施設の設備・備品整備	新南消防署開署

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1億3,025万円	12億5,194万円
新南消防署建設工事 監理業務委託	新南消防署建設工事 監理業務委託 庁舎および公共施設の設備・備品整備

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	計画どおり進捗しており、効果的な消防体制の整備に寄与しています。

支所耐震化事業	地域政策課	
	事業費（計画額）	5億640万円
	事業費（実績額）	4億665万円

《 事業概要 》

市民の安全確保と災害時における地域の拠点機能の確保を図るため、合併地区の支所について、地震時に倒壊の危険性がある庁舎等の耐震化を行います。

耐震化は、補強を原則として行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
耐震化実施設計 牟礼支所 香川支所 香南支所	耐震化工事 牟礼支所 香川支所 香南支所	/

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1億4,010万円	2億6,655万円
耐震補強実施設計 牟礼支所 香川支所 香南支所	耐震補強工事 香川支所

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	平成20年度に耐震補強実施設計を実施し、平成21年度には香川支所耐震補強工事を実施し、概ね順調に進んでいます。

コミュニティセンター・地区公民館耐震化事業	地域政策課	
	事業費（計画額）	1,100万円
	事業費（実績額）	1,019万円

※事業費（計画額）は、平成20年度のみ掲載 平成21年度以降は未定

《 事業概要 》

市民の安全確保と災害時の避難所としての機能強化を図るため、コミュニティセンターおよび地区公民館について、建物診断の結果を踏まえて整備方針を策定し、この方針に基づき、耐震化を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
コミュニティセンター等建物診断および整備方針策定	整備方針に基づく耐震化実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（決算額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1,019万円	—
コミュニティセンター等建物診断	コミュニティセンター中期整備指針の策定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	予定よりは若干、時期が遅れたものの、コミュニティセンター中期整備指針を策定し、概ね順調に進んでいます。

公立保育所耐震化事業	保育課	
	事業費（計画額）	5,070万円
	事業費（実績額）	2,931万円

《 事業概要 》

子どもの安全確保を図るため、保育所施設の耐震診断を実施し、地震時に倒壊の危険性がある建物について耐震化を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
耐震診断 古高松ほか4保育所 大規模修繕(耐震補強)実施設計 (扇町、宮脇)	大規模修繕(耐震補強工事等)工 事 2保育所	

《 事業実績等 》

平成20年度(執行額等)	平成21年度(H22.3末見込額等)
836万円	2,095万円
耐震診断 古高松ほか4保育所 大規模修繕(耐震補強)実施設計 (扇町、宮脇)	耐震補強工事 (扇町、宮脇) 耐震補強実施設計(国分寺南部)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	安全確保に向け、計画どおり順調に進んでいます。

小・中学校・幼稚園施設耐震化事業	教育部総務課
	事業費(計画額) 93億4,970万円
	事業費(実績額) 72億2,014万円

《 事業概要 》

児童生徒の安全確保と災害時の避難所としての機能強化を図るため、平成18年度策定の高松市立小・中学校施設耐震化実施計画に基づき、耐震化を行います。

耐震化は、補強を原則とし、建築後50年程度経過し、老朽化の著しいもの、既存面積が国の基準を大幅に下回るもの、構造的に補強が不可能なものは改築での対応とします。

また、幼稚園施設の耐震診断を実施し、地震時に倒壊の危険性がある建物について耐震化を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
耐震化工事 太田小学校ほか 27校 31棟 耐震化実施設計 花園小学校ほか 34校 42棟 耐震診断 林幼稚園ほか 8園	耐震化工事 花園小学校ほか 34校 43棟 耐震化実施設計 古高松小学校ほか 29校 35棟	耐震化工事 古高松小学校ほか 29校 35棟

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
34億6,224万円	37億5,790万円
耐震化工事 太田小学校ほか 26校 29棟 耐震化実施設計 花園小学校ほか 34校 42棟 耐震診断 林幼稚園ほか 8園	耐震化工事 花園小学校ほか 32校 39棟 耐震化実施設計等 古高松小学校ほか 27校 30棟 耐震化実施設計 林幼稚園ほか 5園 8棟

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	児童生徒の安全確保と災害時の避難所としての機能強化を図るため、耐震化実施計画に基づき、事業計画どおり進捗しています。

高松第一高等学校施設耐震化事業	高松第一高等学校
	事業費（計画額） 6億9,620万円
	事業費（実績額） 3億8,206万円

《 事業概要 》

生徒の安全確保と災害時の避難所としての機能強化を図るため、耐震診断の結果、地震時に倒壊の危険性がある校舎等について耐震化を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
耐震化工事 第2体育館、中館、連結館 耐震化実施設計 本館	耐震化工事 本館 耐震化実施設計 北館、第1体育館	耐震化工事 北館、第1体育館

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
2億1,939万円	1億6,267万円
耐震化工事 第2体育館、中館、連結館 耐震化実施設計 本館	耐震化工事 本館（中・東） 耐震化実施設計 第1体育館

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	平成21年度に本館全体の耐震化工事を行う予定でしたが、前年度の工事の状況を踏まえ、2か年かけて工事を行うこととしたため、計画に比べ1年遅れとなっています。

住宅・建築物耐震改修促進事業	建築指導課
	事業費（計画額） 5億8,840万円
	事業費（実績額） 397万円

《 事業概要 》

地震発生時に市民生活の生命線となる緊急輸送道路を確保するため、「高松市耐震改修促進計画」に基づき、「高松市地域防災計画」の中で緊急輸送道路に指定された中心部の特に重要な道路沿いの特定建築物に対し、耐震診断、耐震改修（建替えも含む）に要する費用の一部を助成することにより、沿道の民間建築物の耐震化を促進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
耐震診断、耐震改修の啓発・指導 耐震診断 15棟	耐震診断、耐震改修の啓発・指導 耐震診断 20棟 耐震改修 15棟	耐震診断、耐震改修の啓発・指導 耐震診断 20棟 耐震改修 20棟

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
—	397万円
緊急輸送道路沿道の対象建築物（90棟） 建築物の耐震化に関するアンケート調査を実施 耐震診断の未実施の建築物の所有者に対して、耐震診断事業の啓発および指導	20年度に実施した緊急輸送道路沿道の対象建築物の未回答の所有者に対し、再度アンケート調査を実施 耐震診断の未実施の所有者に対して、耐震化の啓発および指導・耐震診断事業の実施（3棟）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	本事業は、対象建築物の耐震診断・耐震改修の調査・啓発・指導に期間を要したため、当初の進捗は遅れましたが、既に耐震化が図られている対象建築物が17棟確認され、全体計画としては、概ね順調に進捗しています。

自主防災組織等育成事業	消防局予防課
	事業費（計画額） 4,430万円
	事業費（実績額） 1,890万円

《 事業概要 》

震災等大規模災害時の被害を最小限にとどめるため、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という地域住民の自衛意識の醸成と高揚に努め、地域内で自主的に活動する自主防災組織の結成促進と支援などを行い、市民防災力の向上を図ります。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
自主防災組織の未結成地域への組織結成の働きかけ 自主防災組織資機材助成（担架、避難誘導旗、トランジスターマガホンなど） 消防支援隊・消防協力隊への支援	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1,295万円	595万円
自主防災組織の未結成地域への組織結成の働きかけ 自主防災組織資機材助成 組織率：41.93%	自主防災組織の未結成地域への組織結成の働きかけ 自主防災組織資機材助成 組織率：45.64%

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	当初計画どおり進捗しておらず、更なる取組が必要です。

青色回転灯等安全・安心活動基盤整備事業	地域政策課	
	事業費（計画額）	210万円
	事業費（実績額）	70万円

《 事業概要 》

犯罪の未然防止や犯罪を発生させない安全で安心なまちづくりに資するため、防犯器材等の購入経費を助成していますが、平成20年度からは、香川県警が承認した団体（コミュニティ協議会等）に対する青色回転灯を利用した防犯パトロールに必要な器材等の購入経費助成を追加して重点的に実施します。

- ・ 補助対象 青色回転灯等整備促進事業
その他犯罪の未然防止、防犯意識の高揚に関する事業
- ・ 補助金額 各事業1地区10万円以内

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
青色回転灯等整備促進事業 その他犯罪の未然防止・防犯意識の高揚に関する事業 (14地区)	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
40万円	30万円
青色回転灯等防犯器材購入経費 助成（木太・東植田・一宮・川添地 区コミュニティ協議会）	青色回転灯等防犯器材購入経費 助成（3地区）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業を実施する地域コミュニティ協議会数は増加しており、概ね順調に進んでいます。

危機管理指針等策定事業	危機管理課
	事業費（計画額） 20万円
	事業費（実績額） 4万円

《 事業概要 》

地域防災計画や国民保護計画に加え、大規模な事故や感染症等の緊急事態等にも的確に対応するため、これらの危機を包括した全庁的な対応方針等を示す指針（危機管理指針）や緊急事態等に対処するための計画（緊急事態等対処計画）について、有識者等のアドバイスを求めるなかで、策定するとともに、関係部署による細部計画の見直しや策定により、危機管理体制の確立を図ります。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
防災意識啓発講演会開催（1回開催） 高松市危機管理指針（仮称）策定 高松市緊急事態等対処計画（仮称）策定 高松市業務継続計画（仮称）調査・研究 危機管理体制整備アドバイザー（2人×3回）	防災意識啓発講演会開催（1回開催） 高松市業務継続計画（仮称）策定 各計画の細部計画の策定および見直し・策定 危機管理体制整備アドバイザー（2人×3回）

《 事業実績等 》

平成21年度 (H22.3 末見込額等)
4万円
高松市危機管理指針、高松市緊急事態等対処計画策定 危機管理体制整備に係る検討会 (アドバイザー2名、2回開催) 防災意識啓発講演会 (講師1名、1回開催)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	議会や有識者の意見を伺いながら、平成21年度に高松市危機管理指針や高松市緊急事態等対処計画を策定するなど、概ね順調に進んでいます。

市営墓地整備事業	市民やすらぎ課	
	事業費(計画額)	9,800万円
	事業費(実績額)	4,034万円

《 事業概要 》

市営墓地の適切な管理を行うとともに、市民の墓所需要に応じるため、墓地整備を行います。峰山墓地に引き続き、摺鉢谷墓地において、無縁墳墓の移転改葬・環境整備(平成18年度～22年度)を行うとともに、他の市営墓地においても、未造成区画の整備等を計画的に推進します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
摺鉢谷墓地無縁墳墓移転改葬工事(西ブロック) 同遺骨収蔵庫建設工事、同環境整備工事 姥ヶ池東墓地整備全体計画策定 久通墓地整備全体計画策定・実施設計	摺鉢谷墓地無縁墳墓移転改葬工事(東ブロック) 同環境整備工事 姥ヶ池東墓地墓石調査 平和公園墓園整備全体計画策定、土地造成・区画等実施設計 久通墓地区画整備工事 松井谷墓地整備全体計画策定・区画調査 六ツ目公園墓園実施設計

《 事業実績等 》

平成21年度 (H22.3 末見込額等)
4,034万円
摺鉢谷墓地無縁墳墓移転改葬工事 同遺骨収蔵庫建設工事 姥ヶ池東墓地整備全体計画 久通墓地整備全体計画

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	墓所貸出に向けての、摺鉢谷墓地の無縁墳墓移転改葬工事は順調に進行しています。 また、新規墓所の貸出を行うため策定した「墓地整備計画」に基づき、未造成区画の整備等を計画的に推進しました。

つどいの広場事業	こども未来課	
	事業費（計画額）	9,470万円
	事業費（実績額）	6,158万円

《 事業概要 》

子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備するため、乳幼児を持つ親と子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互交流ができる場を提供します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
子育て支援に関わる社会福祉法人や特定非営利活動法人など、つどいの広場実施団体に運営委託(6か所) わはは・ひろば高松 (大工町1-4) 子育て“ほっと”ステーション もこもこ (上之町2-9-23 マイシアターの家1階) 子育てひろば「おるごーる」 (庵治町丸山156-36) おやこひろば ひなたぼっこ (春日町1176) ひまわりはうす とことこ (出作町382-1 酒井ハイツ110) 子育てホッとステーション ゆうゆう広場 (屋島西町2484-11 コープかがわ屋島店2階)	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
2,972万円	3,186万円
年間利用人数 33,402人 ・こども 17,559人 ・保護者 15,843人	年間利用人数 36,000人 ・こども 19,000人 ・保護者 17,000人 (新規)出張ひろば1か所 わはは子育てひろば・ジャスコ 高松店（香西本町1-1イオン高 松ショッピングセンター ジャ スコ高松店3階）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	地域の子育て支援拠点として、多種多様な市民ニーズを的確に把握し、それぞれの広場の特性をいかした事業内容の提供を行うなど、多くの子育て家庭の交流・相談の場として定着しており、大きな効果が生まれています。

育児支援家庭訪問事業	こども未来課
	事業費（計画額） 2,140万円
	事業費（実績額） 832万円

《 事業概要 》

児童虐待の未然防止と重症化予防を図るため、子育てに支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるよう、過重な負担がかかる前の段階に、育児支援員による在宅の育児等相談・指導および家事等の支援を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
出産後間もない時期（おおむね1年程度）の母子に対する育児指導および簡易な家事等の援助 養育者の身体的不調または精神的不調に関する相談・指導 若年の養育者に対する育児相談・指導 児童の自立に向けた養育相談・指導など	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
376万円	456万円
家庭訪問回数 411回 育児支援員 14人 研修会 5回	家庭訪問回数 450回 養育支援員 13人 研修会 9回 ※児童福祉法改正に伴い、事業名を 養育支援訪問事業に変更

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	短期的支援の家庭が多かったため、訪問回数は減少したものの、概ね順調な支援ができています。

ひとり親家庭子育て支援事業	こども未来課
	事業費（計画額） 640万円
	事業費（実績額） 33万円

《 事業概要 》

ひとり親家庭の子育て支援の充実を図るため、ファミリー・サポート・センター事業の利用料金の一部を助成することにより、ひとり親家庭の就労の支援や育児の負担軽減を図ります。

＜助成対象＞

たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員で、事前に登録を行った小学校6年生までの児童を養育するひとり親家庭を対象

＜助成内容＞

1時間当たりの利用料金のうち400円を助成（ただし、月20時間を上限とする）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用料金の一部を助成 （利用見込）30人	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H21.3末見込額等）
13万円	20万円
登録者 23人 利用者 8人	登録者 35人 利用者 12人

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	利用者数が見込人数を下回っており、制度の周知など、更なる取組を要します。

地域子育て支援拠点事業	保育課	
	事業費（計画額）	3億1,960万円
	事業費（実績額）	1億8,638万円

《 事業概要 》

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため、拠点施設において、育児不安についての相談・援助、子育てサークル等の育成支援、地域の保育資源の情報提供等を行うなど、子育て家庭を支援します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
実施施設数 14か所 (内訳) センター型 11か所 小規模型 3か所	実施施設数 15か所 (内訳) センター型 12か所 小規模型 3か所	実施施設数 16か所 (内訳) センター型 16か所

《 事業実績等 》

平成20年度（決算額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
8,910万円	9,728万円
実施施設数 14か所 (内訳) センター型 11か所 小規模型 3か所	実施施設数 15か所 (内訳) センター型 12か所 小規模型 3か所

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	計画どおり実施できています。

私立保育所施設整備補助事業	保育課
	事業費（計画額） 4億5,230万円
	事業費（実績額） 3億1,411万円

《 事業概要 》

子どもが健やかに育つ良好な保育環境をつくるため、私立保育所が実施する改築、大規模修繕等に対して助成を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
保育所耐震診断補助 7か所 市単独修繕補助 2か所	保育所整備 増・改築 1か所 大規模修繕等 2か所 国庫補助に対する市単独補助 改築 1か所 大規模修繕等 2か所 市単独修繕補助 3か所	保育所整備 増・改築 1か所 大規模修繕等 2か所 国庫補助に対する市単独補助 改築 1か所 大規模修繕等 2か所 市単独修繕補助 3か所

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1億9,363万円	1億2,048万円
保育所耐震診断補助 4か所 市単独修繕補助 2か所 保育所整備 改築 1か所 大規模修繕等 2か所	保育所整備 大規模修繕等 1か所 国庫補助に対する市単独補助 改築 1か所 大規模修繕等 2か所 市単独修繕補助 3か所

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	保育環境改善に向け、計画に沿って良好に実施できています。

公立保育所施設整備事業	保育課	
	事業費（計画額）	2億280万円
	事業費（実績額）	2億3,893万円

《 事業概要 》

子どもが健やかに育つ良好な保育環境をつくるため、市立保育所の施設整備（大規模修繕等、保育所改築）や公立保育所民営化に伴う大規模修繕等を実施します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
民営化保育所修繕工事等 （中野、花園） 保育所保育室空調機設置工事 （民営化4、その他6保育室） 弦打保育所増築工事等 香南保育所改築基本構想策定 （香南幼稚園と合築）	民営化保育所修繕工事 （花ノ宮、十河） 保育所保育室空調機設置工事 （民営化2、その他3保育室） 香南保育所改築基本設計	保育所保育室空調機設置工事 （5保育室） 保育所大規模修繕工事 （2保育所） 香南保育所改築実施設計 大野・大野東保育所改築基本構想 策定

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
8,461万円	1億5,432万円
民営化保育所修繕工事等 （中野、花園） 保育所保育室空調機設置工事 （民営化4、その他6保育室） 弦打保育所増築工事等 香南保育所改築基本構想策定 （香南幼稚園と合築）	民営化保育所修繕工事 （花ノ宮、十河） 多肥保育所増築工事等 保育所保育室空調機設置工事 （民営化6、その他18保育室） 香南保育所改築基本設計 川東南保育所アスベスト除去工事

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	保育環境改善に向け、計画に沿って良好に実施できています。

放課後子ども教室事業	生涯学習課
	事業費（計画額） 1億1,290万円
	事業費（実績額） 2,597万円

《 事業概要 》

放課後等に児童の安全・安心な活動拠点（居場所）づくりを図るため、小学校1～6年生を対象とする放課後子ども教室を小学校の特別教室や屋内運動場等で実施し、学び、スポーツ、文化活動、地域住民との交流等を行います。

実施に当たっては、市全体の放課後子ども教室の実施方針の作成や安全管理対策の検討、研修会の開催等を行う推進委員会を設置します。

実施場所：小学校（特別教室、屋内運動場、図書室、運動場等）、コミュニティセンター等

実施時間：平日 放課後～午後5時、土曜日 午前9時～正午

（各校区の実情や実施体制に応じて実施）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
放課後子ども教室の実施 継続 13校区 4月～3月 新規 8校区 7月～3月 推進委員会の開催	放課後子ども教室の実施 継続 21校区 4月～3月 新規 10校区 7月～3月 推進委員会の開催	放課後子ども教室の実施 継続 31校区 4月～3月 新規 10校区 7月～3月 推進委員会の開催

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
1,079万円	1,518万円
放課後子ども教室の実施 継続 11校区 4月～3月 新規 4校区 (5月～3月、6月～3月、 10月～3月、11月～3月) 推進委員会の開催 (委員12名 3回開催)	放課後子ども教室の実施 継続 15校区 4月～3月 新規 5校区 (7月～3月、7月～3月、9月～ 3月、11月～3月、12月～3月) 推進委員会の開催 (委員12名 2回開催予定)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	実施校区数は、計画の目標を達成していませんが、概ね順調に進捗しています。

放課後児童クラブ事業	こども未来課
	事業費（計画額） 2億6,540万円
	事業費（実績額） 2億373万円

《 事業概要 》

保護者が労働等により、昼間家庭にいない児童の健全な育成を図るため、授業終了後の小学校1年生から3年生の児童（社会福祉法人等が実施している学童保育は対象児童が異なる。）に対して、適切な遊びや生活の場を提供します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
直営8か所 民間委託2か所 社会福祉法人等に対する補助11か所	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
8,066万円	1億2,307万円
直営8か所 民間委託2か所 社会福祉法人等に対する補助9か所	直営9か所 民間委託2か所 社会福祉法人等に対する補助9か所

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	民間保育所等において、新しく放課後児童クラブを開設することはできませんでしたが、70人を超える大規模放課後児童クラブ1か所については、施設整備を行い、クラブを分割することにより、適正な人数で事業を実施することができました。

留守家庭児童会事業	生涯学習課	
	事業費（計画額）	7億7,930万円
	事業費（実績額）	5億7,205万円

《 事業概要 》

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校1～3年生の健全育成を図るため、留守家庭児童会を小学校区単位で開設し、適切な遊びや生活の場を提供します。

実施場所：小学校の余裕教室、プレハブ施設

実施期間：平日 放課後～午後6時

夏休み・冬休み・春休み等 午前8時30分～午後6時

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
新設 1校区（植田） 合計 35校区で開設 定員増 2校区（屋島西、弦打）	新設 1校区 合計 36校区で開設 定員増 2校区	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
2億5,693万円	3億1,512万円
新設 1校区（植田） 合計 35校区で開設 定員増 2校区（屋島西、弦打） 施設整備 プレハブ教室新築工事（弦打、古高松南） 余裕教室改修工事（植田、屋島西）	新設 1校区（仏生山） 合計 36校区で開設 定員増 2校区（檀紙、屋島） 施設整備 プレハブ教室新築工事（檀紙） 余裕教室改修工事（屋島、仏生山）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	待機児童の解消として、余裕教室の改修やプレハブ教室新築工事などの施設整備に取り組んでおり、順調に進んでいます。

ファミリー・サポート・センター事業	こども未来課
	事業費（計画額） 3,700万円
	事業費（実績額） 1,800万円

《 事業概要 》

仕事と子育ての両立など、子育てしやすい環境をつくるため、地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児について相互で助け合う会員組織をつくり、その拠点として、たかまつファミリー・サポート・センターを設置し、相互の援助活動の調整を行います。

＜主な援助内容＞

- ・ 保育所や幼稚園までの送迎
- ・ 保育時間前後の子どもの預かり
- ・ 学校の放課後や学童保育終了後の子どもの預かり
- ・ 保護者の急病や急用時、冠婚葬祭や他の子どもの学校行事など外出時の子どもの預かりなど

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
(主な事業) 事業の効果的な実施のため、新規会員の登録促進、養成講座の開催 地域における会員相互援助活動の調整・支援体制の構築 会員相互の交流会や情報交換会の開催 会員の資質向上を図る講座の開催や子育て関連の情報提供 など	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）		平成21年度（H22.3末見込額等）	
900万円		900万円	
登録会員数	1,023人	登録会員数	1,300人
おねがい会員	535人	おねがい会員	710人
まかせて会員	404人	まかせて会員	500人
どっちも会員	84人	どっちも会員	90人
相互援助活動件数	2,823件	相互援助活動件数	3,500件

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	事業開始後、登録会員数・相互援助活動件数等も順調に増加しており、地域ぐるみで子育てと仕事の両立を支援する有効な事業として定着してきています。

保育士実践型研修事業	保育課	
	事業費（計画額）	70万円
	事業費（実績額）	30万円

《 事業概要 》

子どもや親を取り巻く社会環境の変化に伴い、保育所は、子どもの保育とともに、保護者支援や地域との連携が求められるなど、社会的役割は一層高まっています。

このような中、平成21年度から施行される改定保育所保育指針においても、質の高い保育の提供が求められていることから、保育士の専門性や責任感の向上を図るとともに、職員同士の連帯感を高めるため、仲間と生活を共にする宿泊研修を行います。

また、指導計画や保育日誌の作成や保育実技などについて、指導保育士による個別指導を行います。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
若手保育士を対象とする研修を実施 宿泊研修（1泊2日） 指導保育士による個別指導	継続実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
30万円
五色台体験型宿泊研修（1泊2日） 1～3年目の職員（参加者50名） 新規採用職員巡回訪問指導 年3回（17名）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	若手保育士の資質向上に向け、計画どおり実施できています。

学校教育における食育推進事業	保健体育課	
	事業費（計画額）	2,870万円
	事業費（実績額）	1,036万円

《 事業概要 》

生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎をつくるため、児童生徒が、地域の食文化を始めとする食に関する知識と、食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践するための食育を推進します。

（実施内容）

地元食材の利用等により、各地域で特色ある給食を実施

学校給食センターでの各種食育関連行事の開催や栄養士による食育指導等の充実

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
地域の特色を生かした給食の実施 栄養士による食育指導等 学校給食センター開館記念食育イベントの開催	地域の特色を生かした給食の実施 栄養士による食育指導等 学校給食センターを中心とする食育関連行事の開催	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
581万円	455万円
地域の特色を生かした給食の実施 栄養士による食育指導等 食育セミナーの開催 学校給食食育フェスタの開催	地域の特色を生かした給食の実施 栄養士による食育指導 食育関連行事の開催

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	地域の特色を生かした給食の実施など、当初の計画に基づいて、順調に実施しています。

保育所食育推進事業 (地域で育むわくわくクッキング体験事業)	保育課	
	事業費(計画額)	100万円
	事業費(実績額)	678万円

《 事業概要 》

食習慣の基礎をつくる大切な時期である乳幼児期に、子どもが元気に育つ食習慣を身につけるため、各保育所において、それぞれの地域や保育所の特性をいかした食育を推進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
①保育計画に連動した食育の計画策定 ②保育所内外で、野菜などの栽培、収穫体験を行い、また地域と連携した食育活動を行うなど、それぞれの保育所の特色をいかした食育活動 ③保育参観での給食試食会や親子クッキングの実施 ④郷土料理体験(収穫したそら豆によるしょうゆ豆作り)や栽培・収穫した大麦・小麦による麦茶やパン・うどん作り など	①～④ 継続実施 ⑤離乳食の調理実習、試食の実施(乳児のいる在宅家庭対象) ⑥食に関する内容のペープサート(紙人形劇)やモビール(天井から吊るして楽しむ装飾)の作成・実演など	①～⑥ 継続実施 ⑦地域における農業・漁業や食品製造に携わる人の話や調理の実演 など

《 事業実績等 》

平成20年度(執行額等)	平成21年度(H22.3末見込額等)
287万円	391万円
世代間交流 地域子育て推進 在宅障害児ふれあい 各事業で実施	世代間交流 地域子育て推進 在宅障害児ふれあい 各事業で実施

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	食育の計画に沿った取組ができています。

地域食育推進事業 (“食育”で心と体いきいき事業)	保健センター	
	事業費(計画額)	1,200万円
	事業費(実績額)	467万円

《 事業概要 》

近年、食を大切にする意識が希薄になり、健全な食生活が失われつつあることから、個人だけでなく地域や社会をあげて食育に取り組み、健全な食生活を実践する人間を育てることが必要となっているため、各種団体やボランティア団体等と協働の下、関係機関と連携して実施する食育推進に関する企画提案事業を募集し、採択した事業を委託して実施し、食育推進に取り組みます。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
企画提案事業の募集 採択事業を委託して実施 上限 @30万円×10事業	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度(執行額等)	平成21年度(H22.3未見込額等)
220万円	247万円
採択事業(委託) 11事業 事業報告会開催 出席者108名	採択事業(委託) 13事業

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	市民との協働によって食育が推進され、事業実績も計画を超える事業数を採択し、実施できています。

こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問指導）	保健センター	
	事業費（計画額）	1,460万円
	事業費（実績額）	2,813万円

《 事業概要 》

乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後間もない乳児がいる家庭を助産師や保健師などが家庭訪問し、様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言を行うとともに、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげます。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
訪問件数 2,000件	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）		平成21年度（H22.3末見込額等）	
801万円		2,012万円	
訪問件数	1,949件	訪問件数	4,000件
出生数（H20年）	4,125人	訪問率	85.0%
訪問率	47.2%	（訪問辞退などを含む）	

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成21年度は、訪問を辞退する家庭などを除き、全戸訪問を達成する見込みであり、助産師会が実施しているアンケート調査でも市民の満足度は高い状況です。

産後ケア事業	保健センター	
	事業費（計画額）	1,090万円
	事業費（実績額）	182万円

《 事業概要 》

出産後の身体的機能の回復や育児等の不安を軽減させるために、産婦に、産後の一定期間、母子共に指定した助産所へ入所してもらい、助産師が母体の保護や育児の指導を行います。

＜援助内容＞

- 産後一定期間の母体管理および生活面の指導、乳房管理、沐浴や授乳等の育児指導
- 利用日数 7日間
- 1日当たりの利用者の自己負担額
 - ・一般世帯 10,000円 ・非課税世帯 5,000円 ・生活保護世帯 無料

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用見込 40人	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）		平成21年度（H22.3末見込額等）	
70万円		112万円	
利用件数	16件	利用件数	26件
延べ日数	70日	延べ日数	104日
（1件当たり 平均4.4日）		（1件当たり 平均4日）	
一般世帯	16件	一般世帯	25件
		生活保護世帯	1件

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	利用件数は伸びており、子どもを産み育てやすい環境づくりの事業として、一定の役割を果たしています。

がん対策推進事業	保健センター	
	事業費（計画額）	7億5,010万円
	事業費（実績額）	5億2,429万円

《 事業概要 》

がんの早期発見・早期治療を図るため、集団・個別方式で実施している各種検診のうち、個別検診を行っている大腸・前立腺・子宮・乳がん検診について、検診対象者を対象年齢の全市民に拡大して、受診勧奨を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
(がん検診の実施) 個別検診対象者の拡大 大腸がん検診 40歳以上全市民 子宮がん検診 20歳以上隔年女性全市民 乳がん検診 40歳以上隔年女性全市民 前立腺がん検診 50歳以上男性全市民 (がん予防の意識啓発) 受診券送付時に、がん検診の重要性や年間計画を記載したリーフレットの同封 がん予防のためのシンポジウムの開催 出前講座（健康教育）の実施	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
2億5,202万円	2億7,227万円
受診率 胃がん 3.4% 大腸がん 28.9% 肺がん 15.6% 子宮がん 27.7% 乳がん 27.3% 前立腺がん 38.4% 個別検診を対象年齢の全市民に受診勧奨。 がん予防シンポジウム等啓発事業の実施	統合受診券として、特定健診等の受診券と一緒に、がん検診受診券を送付 啓発事業として、がん予防シンポジウムを開催 大学祭でがん予防のクイズを実施し、リーフレットを配布

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	様々な形で受診勧奨および普及啓発を実施していますが、国が示す受診率50%には到っていないため、更なる取組が必要です。

医療安全支援センター設置事業	保健対策課
	事業費（計画額） 40万円
	事業費（実績額） 40万円

《 事業概要 》

医療における安全の確保や信頼の確保に加え、医療の質の向上を図るため、現在の医療相談窓口を、医療安全支援センターとして制度化するとともに、センターの運営方針や医療安全推進方策を検討する「医療安全推進協議会」を設置し、医療の安全に取り組みます。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
医療安全支援センター設置 医療安全推進協議会の開催 患者・市民からの医療に関する苦情や相談への対応 医療安全の確保に関する事例の収集分析、情報提供 など	医療安全推進協議会の開催 患者・市民からの医療に関する苦情や相談への対応 医療安全の確保に関する事例の収集分析、情報提供 など	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（決算額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
21万円	19万円
医療安全推進協議会 2回開催 (委員10人) 医療安全支援センター職員研修 (初任者研修2名・実践研修1名・ 全国協議会1名)	医療安全推進協議会 2回開催 (委員10人) 医療安全支援センター職員研修 (初任者研修1名・実践研修2名・ 全国協議会1名)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成20年4月1日付けでの医療安全支援センターの制度化や、医療安全推進協議会の開催など、計画どおり実施できています。

新病院（附属医療施設を含む）整備事業	経営管理課	
	事業費（計画額）	24億1,190万円
	事業費（実績額）	3,102万円

《 事業概要 》

市民に対して良質な医療の提供と病院事業の経営基盤の安定化を図るため、有識者等で構成された「高松市民病院あり方検討懇談会」から、平成18年11月に市長に提出された「高松市民病院は、香川病院との統合を前提として、今後求められる役割・機能を果たすために病院移転を図り、塩江病院は新病院との機能連携をもとに附属施設として存続させるべきである。」との提言等を踏まえ、市立3病院を統合・再編し、新病院を整備します。

- ・新病院整備（市民病院と香川病院を統合）
- ・附属医療施設整備（塩江病院）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
新病院基本構想策定 （策定業務委託、 基本構想検討懇談会開催等）	新病院基本計画策定 （部門別運営計画、 医療情報システム導入計画等）	新病院基本設計 新病院用地購入

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
1,181万円	1,921万円
新病院基本構想策定 高松市新病院基本構想検討懇談会 開催（委員14名、6回開催）	新病院基本計画策定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	高松市民病院と香川病院を移転統合した高松市新病院を整備し、塩江病院をその附属医療施設とすることを基本方針として、市議会を始め、高松市新病院基本構想検討懇談会の意見等を踏まえ、平成20年度は新病院基本構想を策定しました。21年度には基本構想のより具体化を図るため、新病院基本計画を策定しています。

発達障害者支援体制整備事業	障がい福祉課	
	事業費（計画額）	1,660万円
	事業費（実績額）	1,104万円

《 事業概要 》

発達障害児者の福祉向上を図るため、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した発達障害児者への支援に取り組みます。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
社会福祉法人に委託して実施 1か所 （事業実施内容） 発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談・巡回相談 連絡調整会の運営・個別支援計画表の作成 発達障害の理解のための啓発活動および研修の実施 など	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
552万円	552万円
連絡調整会 4回開催 講演会・研修会 3回開催 ケース会議 2回開催 各種相談 544件 はったつ手帳作成	連絡調整会 4回開催 講演会・研修会 2回開催 ケース会議 2回開催 各種相談

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	関係機関との連絡会、講演会の開催などにより、支援体制の整備に効果がありました。また、発達障害児およびその家族等との相談件数も多く、ニーズの把握、適切な支援への結びつけが行え、発達障害者への福祉の向上が図られました。

源平屋島地域観光振興事業	観光振興課	
	事業費（計画額）	3,290万円
	事業費（実績額）	1,770万円

《 事業概要 》

瀬戸内海国立公園有数の景勝地である屋島を中心とした、源平合戦の史跡を有する庵治・牟礼・屋島地域において、自然・歴史・文化等の資源をいかした観光振興を図るため、この地域で活動する団体等で構成する源平屋島地域運営協議会の活動を支援することにより、源平屋島地域全体の活性化を目指します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
源平屋島地域運営協議会に補助 （源平屋島地域の魅力をいかしたイベントの開催・支援等） 源平屋島地域あかり事業 （全国石あかりコンテスト・あかりサミット） 情報発信等事業 （源平の里ポータルサイト運営・パンフレット作成等） 源平屋島納涼祭事業 （7月下旬実施予定） 自然公園活用事業 （自然と親しむイベントの実施） 観光アクセス向上事業 （屋島山上シャトルバス・屋島地域観光周遊バスの運行） さぬき満月まつり事業 （8月中旬実施予定） 純愛の聖地魅力向上事業 （純愛ロードをいかしたイベントの実施等）	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
885万円	885万円
<p>源平屋島地域あかり事業（むれ源平石あかりロードおよび第2回全国あかりサミットIN牟礼開催）</p> <p>情報発信等事業（ポータルサイトの充実、ガイドマップの更新・増刷および「源平ロマン街道」のPR）</p> <p>源平屋島納涼祭開催</p> <p>自然公園活用事業（ウォーキングを始め、全5回開催）</p> <p>観光振興事業（光とあかりのファンタジー・フォトコンテスト）</p> <p>観光アクセス向上事業（屋島山上シャトルバスの運行およびPR）</p> <p>さぬき満月まつり開催</p> <p>純愛の聖地魅力向上事業（庵治いっぱい愛フェスティバル開催）</p> <p>その他源平屋島地域の魅力をいかしたイベントの開催（屋島ゆうやけいフェスタ・屋島山上初日来迎式等）</p>	<p>源平屋島地域あかり事業（むれ源平石あかりロード）</p> <p>情報発信等事業（ポータルサイトの充実、ガイドマップの更新・増刷）</p> <p>源平屋島納涼祭開催</p> <p>自然公園活用事業（ウォーキングを始め、全5回開催）</p> <p>観光振興事業（光とあかりのファンタジー・フォトコンテスト）</p> <p>観光アクセス向上事業（屋島山上シャトルバスの運行およびPR）</p> <p>さぬき満月まつり開催</p> <p>その他源平屋島地域の魅力をいかしたイベントの開催（屋島ゆうやけいフェスタ・屋島山上初日来迎式等）</p>

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	源平屋島地域における各種イベント等の開催を支援するなど、地域の資源をいかした観光振興を図り、観光客を集客しました。

高松観光プロモーション事業	観光振興課	
	事業費（計画額）	3,350万円
	事業費（実績額）	1,200万円

《 事業概要 》

新しい観光振興計画のコンセプトである持続可能な観光振興の実現を目指し、民間の経済活動を本市観光振興の原動力とするため、（財）高松観光コンベンション・ビューローが、企業、各種団体、NPO等から、本市のにぎわい創出を目的とした事業を募集し、公開プレゼンテーションを経て、実施事業を決定し、助成を行います。

また、海外からも訪れる人の多い文化的資源であるイサム・ノグチ庭園美術館、直島町の地中美術館等を巡る「アートハブシティ（芸術周遊拠点都市）高松」を海外に情報発信するため、英語版のインターネット上に、本市の広告を掲載します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
にぎわい創出事業募集 助成金額1件100万円以内、 10件程度 募集分野①～④ ①ブラッシュ・アップ（観光資源の活用等）分野 ②イベント（観光客の誘客に資するイベント等） ③PR（日常の経済活動で、本市を広く発信する事業） ④課題テーマ インターネット上のポータルサイトへの高松市の広告掲載	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
600万円	600万円
認定事業5件×100万円=500万円 その他事務費 100万円 認定審査会開催（提案件数25件） 企業説明会の開催 事業認定委員会の開催（委員6名）	認定事業5件×100万円=500万円 その他事務費 100万円 認定審査会開催（提案件数30件） 企業説明会の開催 事業認定委員会の開催（委員6名）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本市を全国へPRする情報の発信やイベント等の開催など、民間経済活動をいかした観光振興事業を認定し、支援しました。 また、認定事業の中には、マスコミに大きく取り上げられた事業や期間終了後も継続して実施されている事業があるなど、一定の成果をあげています。

「たかまつ食と文化のフェスタ（仮称）」事業	観光振興課	
	事業費（計画額）	600万円
	事業費（実績額）	600万円

《 事業概要 》

シルクロードでつながる国や都市が麺をテーマに交流を深めるため、「世界麺フェスタ 2008 in さぬき」が、サンポート高松を主会場（期間：5月3日（土）～6日（火））として、開催されるのに合わせて、本市の情報発信をするため、協賛イベントとして「たかまつ食と文化のフェスタ（仮称）」を開催します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
たかまつ食と文化のフェスタ(仮称)開催 シルクロードにちなんだコンサート開催 高松の食にちなんだイベント開催 麺フェスタにちなんだPRブース等の設置		

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）
600万円
世界麺フェスタ協賛事業 「たかまつ食と文化のフェスタ」開催 「シルクロードファミリーコンサート in 高松」の開催 高松中央商店街「街の駅」事業の開催 その他協賛事業の開催

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	世界麺フェスタには、約10万人が来場し、経済波及効果は約37億円と試算されており、協賛事業として実施した当該事業も一定の成果がありました。

中央商店街空き店舗活用支援事業	商工労政課	
	事業費（計画額）	4,600万円
	事業費（実績額）	3,927万円

《 事業概要 》

中央商店街のにぎわい向上を図るため、中心市街地内の商店街振興組合や商店街を形成している任意の団体等を対象に、チャレンジショップ事業など空き店舗を活用した活性化のための事業に対して、助成します。

（補助概要）

- ・対象経費 店舗賃借料、改装費等
- ・補助率 補助対象経費の3分の2以内（10分の9以内）
- ・補助限度額 3年間の補助金額の合計が対象店舗の面積が80坪までの場合600万円（810万円）、80坪以上の場合は1,000万円（1,350万円）
- ・補助期間 最長3年間

（ ）内は、空き店舗率が前2年間25%以上の商店街において実施する場合

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
中央商店街空き店舗活用事業への助成	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
2,017万円	1,910万円
中央商店街空き店舗活用事業への助成	中央商店街空き店舗活用事業への助成
コミュニティ施設 2件	コミュニティ施設 4件
インターンシップ事業 2件	テナントミックス管理事業 5件
テナントミックス管理事業 3件	
計7件	計9件(20年度からの継続を含む)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	相談件数や助成件数が増加するとともに、空き店舗率が改善傾向となるなど、空き店舗を活用した活性化を推進しました。

企業誘致推進事業	商工労政課	
	事業費（計画額）	2,170万円
	事業費（実績額）	3,176万円

《 事業概要 》

地域経済の活性化を図るため、平成19年6月に施行されたいわゆる企業立地促進法を踏まえ、香川県が市町の意見を取り入れ、策定した香川ものづくり産業振興計画に基づき、本市の地域特性を生かした企業誘致を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
企業誘致専門員による情報収集、誘致活動の実施	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
221万円	2,955万円
企業誘致専門員による情報収集 香川県企業誘致推進協議会等関係 機関との情報交換 新たな企業誘致優遇制度の検討	企業誘致専門員による情報収集、誘 致活動の実施 新たな企業誘致優遇制度の創設に よる企業誘致推進

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	企業誘致専門員を雇用し、積極的に企業誘致活動を推進しました。 また、新たな企業誘致優遇制度を創設し、企業誘致を推進したことにより、コールセンターを始めとする企業を誘致し、地域経済の活性化を図りました。

高松ブランド構築事業	商工労政課	
	事業費（計画額）	1,950万円
	事業費（実績額）	807万円

《 事業概要 》

地域の資源を生かした、特色ある産業の振興や本市のイメージアップを図るため、高松ブランドの構築に向けて、ブランドの認定、情報発信等を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
高松ブランド構築調査	コーディネーターへの委託 （高松ブランドの発掘） ブランド認定委員会の運営 ブランド推奨マークの公募、制定 等	コーディネーターへの委託 （高松ブランドの発掘） ブランド認定委員会の運営 ブランド推奨マークの公募、制定 等 東京のアンテナショップでのイ ベント開催

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
—	807万円
	香川漆器ブランド化事業の戦略計 画の作成 ブリスク オリジナルブランドの 開発

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
D	高松ブランドの構築を図るため、ジャパンブランド育成支援事業を活用して、ブランド戦略計画を作成し、香川漆器ブランド力の向上に取り組むとともに、ふるさと雇用再生特別基金を活用して、高松の伝統工芸品、特産品とブリーザーズ スクエアを利用するクリエイターのコラボレーションを積極的に進め、ブリスク オリジナルブランドの開発に取り組んでいます。

トゥール市・南昌市との都市提携周年記念事業	国際文化振興課都市交流室	
	事業費（計画額）	1,140万円
	事業費（実績額）	656万円

《 事業概要 》

海外都市との市民レベルにおける交流を促進するとともに、市民の国際感覚の涵養を図るため、民間国際交流団体と協働して、フランス・トゥール市（1988年姉妹都市提携）および中国・南昌市（1990年友好都市提携）との都市提携20周年記念事業を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
トゥール市への公式訪問団の派遣 トゥール市からの公式訪問団受入れ 姉妹都市展の開催 民間国際交流団体主催事業への支援（市民親善使節団の派遣、交流イベント等）		南昌市への公式訪問団の派遣 南昌市からの公式訪問団受入れ 友好都市展の開催 民間国際交流団体主催事業への支援（市民親善使節団の派遣、交流イベント等）

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）
656万円
トゥール市との公式訪問団の相互派遣 記念式典、姉妹都市展の開催 民間国際交流団主催事業への支援（市民親善使節団の派遣、記念講演会の開催、記念植樹）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	所期の目的を達し、国際交流活動の活発化、市民の国際感覚の醸成を図れました。

高松・帯広 愛と幸福の都市交流事業	商工労政課・観光振興課	
	事業費（計画額）	890万円
	事業費（実績額）	630万円

《 事業概要 》

人が行きかう多彩な交流を促進するため、愛国駅と幸福駅にちなんで「愛の国から幸福へ」のフレーズで知られる帯広市と、映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地になった高松市が「愛と幸福の都市連携」と銘打った市民交流を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
高松市において彦根市、水戸市、帯広市、高松市、由利本荘市などの観光と物産展開催	帯広市において高松市、帯広市の観光と物産展を開催	高松市において帯広市、高松市の観光と物産展を開催
庵治地区での「ええとこフェスティバル」において、交流イベントを実施	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
550万円	80万円
高松市において歴史的につながりのある彦根市、水戸市に加え、帯広市など交流のある市町の観光と物産展を開催	帯広市において高松市、帯広市の観光と物産展を開催

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	帯広市との交流においては、相互に観光と物産展を開催したほか、冬のまつりの開催でも交流を深めるなど、都市交流を推進しました。

移住・交流促進事業	企画課	
	事業費（計画額）	100万円
	事業費（実績額）	150万円

※事業費（計画額）は平成20年度のみ掲載　平成21～22年度は未定

《 事業概要 》

本市のイメージアップや地域の活性化を図るため、平成19年度実施の「瀬戸内海」をテーマとした移住・交流促進に関する調査・検討結果を踏まえ、まちなか居住も含めた移住・交流の促進を図ります。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
試行 情報発信 体験ツアーの実施 移住・交流支援 （受入相談窓口の設置、仕事・住居等の紹介）	平成20年度の実施状況を踏まえ対応	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
100万円	50万円
ブログ形式による「せとうちチャンネル」の開設支援	民間事業者が実施する「せとうちチャンネル」による情報発信事業の運営に係る経費や広報活動に対する支援

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	「せとうち暮らし」の魅力をもっとPRするため、ブログ形式による「せとうちチャンネル」を開設するなど、情報発信の充実を図っており、概ね順調に進んでいます。

たかまつ松平藩まちかど漫遊帖補助事業 (09 香川 まちめぐり てくてくさぬき共催事業)	観光振興課	
	事業費 (計画額)	250万円
	事業費 (実績額)	250万円

※平成21年度事業費のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

本市の新たな観光と地域の振興を図るため、「09 香川まちめぐり てくてくさぬき」に共催して行う「たかまつ松平藩まちかど漫遊帖」は、自分たちの住み慣れた町、通いなれた道を松平藩をキーワードに、そこに住む地元市民ツアープロデューサーがお接待のころをもつて案内するまち歩き観光の事業です。

平成21年度には、香川県が実施する「09 香川まちめぐり てくてくさぬき」に合わせ、「春」「夏」「秋」において「たかまつ松平藩まちかど漫遊帖」の各コースを設定し、高松市および香川県全体の集客を図ります。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
たかまつ松平藩まちかど漫遊帖「春」編 15コース程度催行 たかまつ松平藩まちかど漫遊帖「夏」編 5コース程度催行 たかまつ松平藩まちかど漫遊帖「秋」編 30コース程度催行	平成21年度の事業効果を踏まえて、コース内容等を検討し、引き続き実施する。

《 事業実績等 》

平成21年度 (H22.3末見込額等)
250万円
たかまつ松平藩まちかど漫遊帖「春」編 17コース たかまつ松平藩まちかど漫遊帖「秋」編 34コース

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	共催事業に合わせて、多彩なコースを設定し、多様な市民等の参加を図ったことにより、春編では121%、秋編ではほぼ100% (99.8%) と高い参加率となり、多くの観光客を集客しました。

街路事業	都市計画課	
	事業費（計画額）	40億6,840万円
	事業費（実績額）	19億806万円

《 事業概要 》

利便性、安全性、快適性に優れた交通ネットワークを構築し、円滑な交通を確保するため、高松海岸線、木太鬼無線など都市計画道路を整備し、良好な市街地の形成および経済活動の活性化を図ります。

■ 施行中の都市計画道路

高松海岸線（丸の内）

木太鬼無線（西春日町～鶴市町）

郷東檀紙西線（香西東町）

香西東町香西南町線（香西東町）

兵庫町西通町線（扇町一丁目）

公園東門線（楠上町二丁目）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
高松海岸線街路事業 （用地取得、改良工事等）	高松海岸線街路事業	高松海岸線街路事業
木太鬼無線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事、 測量試験等）	木太鬼無線街路事業	木太鬼無線街路事業
郷東檀紙西線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事 等）	郷東檀紙西線街路事業	郷東檀紙西線街路事業
香西東町香西南町線街路事業 （用地取得等）	香西東町香西南町線街路事業	香西東町香西南町線街路事業
公園東門線街路事業 （用地取得等）	公園東門線街路事業	公園東門線街路事業
兵庫町西通町線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事 等）	兵庫町西通町線街路事業	
	都市計画道路整備プログラム策 定業務委託	

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
8億5,650万円	10億5,156万円
高松海岸線街路事業 （用地取得、改良工事等） 木太鬼無線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事、 測量試験等） 郷東檀紙西線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事 等） 公園東門線街路事業 （用地取得、改良工事等） 兵庫町西通町線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事 等）	高松海岸線街路事業 （用地取得、改良工事等） 木太鬼無線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事、 測量試験等） 郷東檀紙西線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事 等） 香西東町香西南町線街路事業 （測量試験等） 公園東門線街路事業 （用地取得、改良工事等） 兵庫町西通町線街路事業 （用地取得、移転補償、改良工事 等） 都市計画道路整備プログラム策 定業務委託

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、平成21年度に木太鬼無線のトンネル工事に着手するなど、コストの削減 や事業の選択と集中により、概ね順調に進捗しています。

中央通りオフィス環境整備事業	まちなか再生課	
	事業費（計画額）	750万円
	事業費（実績額）	250万円

《 事業概要 》

本市の商業・業務の中心地である中央通り沿道のオフィスビル等の空室率の改善やテナント企業の誘致を図るとともに、快適な歩行者空間を創出するため、OA施設環境改善や敷地内でのポケットパークの整備など、良好な施設整備（改修）等を行ったビルの所有者に対し、一定期間、建物の固定資産税の一部を軽減し、オフィス環境の整備を促進します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
オフィス環境整備事業要綱の制定 対象ビルの応募受付・審査	オフィス環境整備事業要綱に基づく対象ビルの応募受付・審査	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
—	250万円
オフィス環境整備事業要綱の制定 周知・啓発、アンケート 事前協議	改修（1件） ・マニユライフプレイス高松

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	本事業は、実施が1件でしたが、問い合わせは数件あるなど、制度は順調に周知されています。現在の厳しい社会経済情勢を踏まえながら、都心部の活性化に向け、さらに事業の普及促進を図っていく必要があります。

中心市街地歩行者空間整備事業	まちなか再生課	
	事業費（計画額）	3,500万円
	事業費（実績額）	417万円

《 事業概要 》

サンポート高松と中央商店街の回遊性を高め、中心市街地の更なる活性化を図るため、平成15年に策定した、中心市街地（サンポート高松～中央商店街）歩行者空間整備計画に基づき整備を行うとともに、歩行者ネットワークの再検討を行います。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
歩行者ネットワークの再検討	西の丸町兵庫町線（高松北警察署～兵庫町アーケード間） 測量設計 L=200m W=6.0m	西の丸町兵庫町線（高松北警察署～兵庫町アーケード間） カラー舗装 1,200 m ² 照明 4基 サイン2箇所

《 事業実績等 》

平成20年度（決算額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
—	417万円
関係機関協議 交通量調査	西の丸兵庫町線（高松北警察署～兵庫町アーケード間） 電線共同溝測量設計 L=200m W=6.0m

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、歩行者空間整備に向け、関係者との協議や測量設計を行うなど、順調に進んでいます。

高松丸亀町商店街再開発事業	まちなか再生課	
	事業費（計画額）	46億7,320万円
	事業費（実績額）	22億2,439万円

《 事業概要 》

中心商店街の活性化と土地の合理的かつ適切な高度利用と都市機能の更新を図るため、高松市中心市街地活性化基本計画に基づき、商業・サービスの魅力強化と効果の波及、来街者の回遊促進、居住促進に資する丸亀町商店街再開発事業を実施します。

- ・ G街区市街地再開発事業 地下1階 地上29階 延床面積 64,470 m²
住宅・店舗・ホテル等

総事業費 約 19,252,008（千円） 補助対象事業費 約 9,396,637（千円）

補助金（国・県・市）約 5,796,000（千円） 組合事業費 約 13,456,008（千円）

- ・ 丸亀町商店街共同施設整備事業

補助対象事業費 5,742,519（千円） 補助金（市）1,331,459（千円）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
G街区市街地再開発事業補助 実施設計、権利返還計画、 補償費、附帯事務費 丸亀町商店街共同施設事業費補助 A街区 立体駐車場 (丸亀町壱番街株式会社) アーケード・ドーム (丸亀町商店街振興組合) C～F カラー舗装 (丸亀町商店街振興組合)	G街区市街地再開発事業補助 建築物除却、建築工事費、 工事監理費、附帯事務費 丸亀町商店街共同施設事業費補助 A街区 アーケード・ドーム (丸亀町商店街振興組合) B街区 カラー舗装 (丸亀町商店街振興組合)	G街区市街地再開発事業補助 建築工事費、工事監理費、 附帯事務費 丸亀町商店街共同施設事業費補助 B～C アーケード (丸亀町商店街振興組合) C街区 駐輪場 (丸亀町まちづくり株式会社)

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
105万円（G街区） 4,150万円（共同施設）	20億9,636万円（G街区） 8,548万円（共同施設）
整備計画作成費（市事務費）：G街区 A街区立体駐車場：共同施設	補償費、附帯事務費、整備計画作成費（市事務費）：G街区 A街区アーケード・ドーム等 B・C～F街区カラー舗装：共同施設

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、G街区市街地再開発事業の見直しにより事業の遅れが心配されましたが、丸亀町商店街振興組合などの関係者や関係機関の協力の下、A街区アーケード・ドームやB・C～F街区カラー舗装等の事業とともに、概ね計画どおり事業が進捗しています。

公共交通利便性向上推進事業	企画課交通政策室・都市計画課	
	事業費（計画額）	3億380万円
	事業費（実績額）	2億102万円

《 事業概要 》

公共交通の利便性の向上を図るため、鉄道設備の整備に対する支援、生活バス路線の維持充実、パークアンドライド用駐車場の整備、離島航路に対する補助など、良好な交通環境を確保します。

- ・公共交通旅客施設バリアフリー化事業（琴電高松築港・片原町・栗林公園・花園駅）
- ・生活バス路線補助（塩江・香川・国分寺町コミュニティバス、香川町シャトルバス、山田地区乗合タクシー、路線バス、ノンステップバス購入）
- ・離島航路補助
- ・P&R駐車場整備（琴電岡本駅，JR国分駅）
- ・新駅設置の検討

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
公共交通旅客施設バリアフリー化事業(琴電栗林公園・花園駅) 生活交通路線補助 コミュニティバス等5路線、 路線バス、ノンステップバス購入 離島航路補助	公共交通旅客施設バリアフリー化事業(琴電片原町駅) 生活交通路線補助 コミュニティバス等5路線、 路線バス、ノンステップバス購入 離島航路補助 P&R駐車場整備（岡本駅周辺）	公共交通旅客施設バリアフリー化事業(琴電高松築港駅) 生活交通路線補助 コミュニティバス等5路線、 路線バス、ノンステップバス購入 離島航路補助 P&R駐車場整備（国分駅周辺）

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3未見込額等）
1億14万円	1億88万円
公共交通旅客施設バリアフリー化事業(琴電栗林公園・花園駅) 生活交通路線補助 コミュニティバス等5路線、 路線バス、ノンステップバス購入 離島航路補助	公共交通旅客施設バリアフリー化事業(琴電花園、一宮、湯元、 八栗、林道、岡本駅、J R 鬼無駅) 生活交通路線補助 コミュニティバス等5路線、 路線バス、ノンステップバス購入 離島航路補助

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	鉄道駅のバリアフリー化を始め、生活バス路線補助を行うなど、概ね良好な交通環境を確保しています。

JR端岡駅周辺整備事業	都市計画課	
	事業費（計画額）	200万円
	事業費（実績額）	365万円

※事業費（計画額）は平成21年度のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

地域の主要駅であるJR端岡駅の利便性の向上を図るため、一般国道11号と主要地方道高松善通寺線とを連絡する市道北谷・端岡線外1線の整備改善や駅南側における駅前広場や改札口等の新設など、駅周辺の整備を行います。

（具体的な整備内容については、平成21年度において検討予定）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
	道路等実施設計	実施設計に基づき、事業着手予定

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
万円	365万円
	道路等の設計業務 周辺整備検討協議会への支援

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、円滑な事業化の推進のため、地元協議会への技術的支援や調査検討による事業の熟度を高めるなど、事業化に向けて概ね順調に進んでいます。

高松市総合都市交通計画策定事業	企画課交通政策室
	事業費（計画額） 300万円
	事業費（実績額） 175万円

《 事業概要 》

多様な交通手段が有機的に連携した快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、LRTの導入など過度に自動車に依存しない本市の都市交通の将来ビジョンを明らかにし、今後の交通政策の基本指針となる、新たな総合都市交通計画を策定します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
総合都市交通計画策定 公共交通基幹軸（鉄道・LRT・基幹バス）の検討 交通結節拠点の強化（P&R等）の検討 アンケート調査の実施 交通量調査の実施 ※計画策定に係る調査委託については、別途、国から事業者への1,600万円の直接補助あり	総合都市交通計画 計画書、パンフレット作成	

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
—	175万円
総合都市交通計画策定 公共交通基幹軸（鉄道・LRT・基幹バス）の検討 交通結節拠点の強化（P&R等）の検討 アンケート調査の実施 交通量調査の実施	総合都市交通計画のベースとなる環境配慮型都市交通計画（エコ交通計画）の取りまとめ

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	過度に自動車に依存しない交通体系や公共交通の利用促進方策などを盛り込んだ、環境配慮型都市交通計画（エコ交通計画）を22年1月に取りまとめるなど、概ね順調に進んでいます。

新都市交通システム導入検討事業	企画課交通政策室
	事業費（計画額） 600万円
	事業費（実績額） 400万円

※事業費（計画額）は平成20年度のみ掲載 平成21年度以降は未定

《 事業概要 》

高齢者を始めとする交通弱者の利便性向上や環境負荷の軽減、中心市街地の活性化を図るため、人々が快適に移動することができる、LRTなど新しい都市交通システム導入を検討します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
新都市交通システム調査検討 導入の考え方、区間、需要予測、 事業採算性、整備効果、課題など	調査検討結果を踏まえ対応	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
—	400万円
新都市交通システム調査検討 導入の考え方、区間、需要予測、 事業採算性、整備効果、課題な ど 総合都市交通戦略検討協議会を計3 回開催	新都市交通システム調査検討 導入の考え方、区間、需要予測、 事業採算性、整備効果、課題な ど 総合都市交通戦略検討協議会を計4 回開催

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
C	LRTなど新交通システムの導入も含めた公共交通体系の再構築に向けては、琴電の既存ストックを活用する方策など、引き続き、様々な角度からの検討が必要です。

自転車利用都市づくり計画策定事業	企画課交通政策室	
	事業費（計画額）	190万円
	事業費（実績額）	169万円

《 事業概要 》

自転車を都市交通手段として、有効に活用し、歩行者と自転車の安全で快適な空間を確保する、自転車利用のまちづくりを推進するため、高松地区委員会を設立し、自転車と歩行者が安全に通行できる空間の整備や商店街の自転車対策など、自転車利用都市づくり計画を策定します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
自転車利用都市づくり計画策定		

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）
169万円
自転車を利用した新しいまちづくりに関するフォーラム開催 自転車利用都市づくり計画策定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	「自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会 高松地区委員会」で、自転車利用に向けて、実効性のある施策を取りまとめた「高松地区における自転車を利用した都市づくり計画」を平成20年11月に策定し、所期の目的を達成しました。

レンタサイクル事業	都市計画課交通安全対策室
	事業費（計画額） 1億6,470万円
	事業費（実績額） 1億754万円

《 事業概要 》

環境にやさしく、機動性に優れた都市内交通手段として、自転車利用の環境づくりを進めるため、自転車を複数の利用者が相互利用できるレンタサイクル事業を実施します。

（現在、6か所にサイクルポートと約1,000台のレンタサイクルを設置）

平成20年度において、一層の利便性向上を図るため、市街地中心部の鉄道駅で未整備である、琴電片原町駅に新たにレンタサイクルポートを整備します。

《 事業計画 》

平成20年度		平成21年度		平成22年度
レンタサイクル	1,000台	レンタサイクル	1,050台	継続実施
瓦町地下	220台	瓦町地下		
高松駅前広場地下	550台	高松駅前広場地下		
栗林駅前	80台	栗林駅前		
南部駐車場	20台	南部駐車場		
栗林公園駅前	60台	栗林公園駅前		
市役所	70台	市役所		
片原町駅前ポート整備 (9月供用予定)	50台	片原町駅前		

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
5,483万円	5,271万円
レンタサイクル、サイクルポートの 管理運営（7箇所1,050台） 片原町駅前ポート整備 50台	レンタサイクル、サイクルポートの 管理運営（7箇所1,050台）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、平成20年度に琴電片原町駅前のレンタサイクルポートを新設し、利便性の向上が図られ、本市が掲げる自転車を利用したまちづくりに寄与しました。

高松市都市計画マスタープラン策定事業	都市計画課	
	事業費（計画額）	100万円
	事業費（実績額）	296万円

《 事業概要 》

本市にふさわしい、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、平成16年5月の線引き制度の廃止を含む新しい都市計画制度の施行や、合併による市域の拡大などを踏まえた土地利用などの基本方向を明らかにし、適正な土地利用の誘導を図る都市づくりの総合的な指針として、新たな都市計画マスタープランを策定します。

■高松市都市計画区域（対象範囲）

（単位：km²）

区 分	旧高松市	牟礼地域	香川地域	香南地域	国分寺地域	合 計
都市計画区域	162.00	16.48	20.36	14.72	26.25	239.81

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
都市計画マスタープラン(全体構想・地域別構想)の策定 住民説明会の開催等		

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）
296万円
高松市都市計画マスタープラン策定委員会 2回開催 委員15名 説明会開催 8回 参加者590名 都市計画マスタープランパンフレット等作成

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	本事業は、説明会等により住民の意向を反映し、本市のまちづくりの根幹的・総合的な指針となる「多核連携型コンパクト・エコシティ」を目指すべき都市構造とする高松市都市計画マスタープランを、平成20年12月に策定しました。

高松市都市景観基本計画策定事業	都市計画課	
	事業費（計画額）	1,060万円
	事業費（実績額）	507万円

《 事業概要 》

魅力ある都市空間の形成を図るため、平成17年6月に施行された景観法の基本理念に基づき、現在の都市景観条例を改正し、実効性の確保できる新しい条例を制定するとともに、景観法の理念に沿った都市景観形成施策の総合的・計画的指針として、新たな都市景観基本計画を策定します。

さらに、それに基づき、良好な景観を形成するための景観計画の策定を行い、地域に即した都市景観の創出を図ります。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
景観法に基づく新しい都市景観条例の制定	景観基本計画の策定 (合併地区を含む市全域にわたる都市景観形成の指針) 景観計画の作成 (良好な景観形成の計画)	景観計画の策定

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
135万円	372万円
美しいまちづくり条例（仮称）検討委員会開催 (委員8名、3回開催) たかまつ美しいまちづくりシンポジウムの開催	美しいまちづくり条例の制定 美しいまちづくり基本計画の検討 美しいまちづくり審議会開催 (委員15名、1回開催)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、平成21年12月に美しいまちづくり条例を制定するなど、22年度の景観計画の策定に向け、概ね順調に進んでいます。

高松城跡等整備事業	公園緑地課
	事業費（計画額） 3億7,870万円
	事業費（実績額） 1億3,754万円

《 事業概要 》

日本の代表的な海城であり、城下町高松の顔・シンボルともなる特徴的な城郭を、後世まで守り伝えるため、史跡高松城跡保存整備基本計画に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理に努めるとともに、滅失した天守閣や桜御門などの復元に向けて史料調査を行い、復元整備計画を策定します。

（整備内容）

披雲閣保存整備事業（披雲閣の耐震補強、披雲閣の保存修理）

高松城跡整備事業（桜御門の復元整備など）

高松城天守閣復元整備事業（天守台石垣の保存修理、史料調査など）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
披雲閣保存整備事業 （玄関整備工事） 高松城跡整備事業 （地久櫓台石垣保存整備工事、 鞆橋修理計画、桜御門復元基本 構想・基本計画等） 高松城天守閣復元整備事業 （天守台石垣積み直し工事、史料 調査等）	披雲閣保存整備事業 （耐震補強工事等） 高松城跡整備事業 （鞆橋解体修理工事、桜御門発掘 調査等） 高松城天守閣復元整備事業 （天守台石垣積み直し工事）	披雲閣保存整備事業 （保存修理基本設計等） 高松城跡整備事業 （桜御門石垣調査等）

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
6,274万円	7,480万円
高松城跡整備事業 （地久櫓台石垣遺構保存整備工 事、桜御門復元基本構想・基本 計画等） 高松城天守閣復元整備事業 （天守台石垣積み直し工事、史料 調査等）	高松城天守閣復元整備事業 （天守台石垣積み直し工事）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本事業は、史跡であるため関係機関との協議に期間を要しましたが、天守台の石垣積み直し工事は21年度より3か年で実施し、披雲閣の耐震補強工事については、国の重要文化財指定後の実施が決定されたため、その耐震診断を実施するなど、史跡高松城跡保存整備基本計画に基づき、概ね順調に進捗しています。

超高速情報通信網整備事業	情報政策課
	事業費（計画額） 150万円
	事業費（実績額）9億3,645万円

※平成20年度事業費（21年度への繰越含む）を掲載 平成22年度以降は未定

《 事業概要 》

すべての市民が情報化の恩恵を享受、実感できるよう、合併地区におけるケーブルテレビ網と超高速情報通信網を整備するため、第三セクターの民間業者が光ファイバーでケーブルテレビ網を整備し、その回線を超高速情報通信網として活用する整備手法を基本として、事業主体となる民間事業者と協議する中、超高速情報通信網の整備を進めます。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業主体となる民間業者が行う「設備構築概算設計」費用の一部を助成	ケーブルテレビ網および超高速情報通信網の整備	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
45万円	9億3,600万円
「設備構築概算設計」費用の一部を助成	合併地区におけるケーブルテレビ網および超高速情報通信網の整備費用の一部を助成 (対象地区の80%の世帯をサービス提供可能エリアとする)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	合併地区への整備については、平成20年12月補正予算で措置し、21年3月の国の交付決定を経て、計画どおりに21年度中に順次、サービスを開始しました。

コンパクト・エコシティ推進事業	都市計画課	
	事業費（計画額）	420万円
	事業費（実績額）	254万円

《 事業概要 》

適正な土地利用の規制・誘導のため、平成20年に策定した高松市都市計画マスタープランに基づき、誰もが暮らしやすいコンパクトで持続可能なまちづくりの実現に向けた、土地利用規制の充実・強化を図るものです。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
コンパクト・エコシティ推進委員会 土地利用規制検討業務 特定用途制限地域等見直し内容の検討	コンパクト・エコシティ推進委員会 土地利用規制策定業務 都市計画決定に向けた都市計画手続きの実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
254万円
コンパクト・エコシティ推進委員会の開催 委員12名 土地利用規制検討業務

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	本事業は、専門家や一般市民等で構成されるコンパクト・エコシティ推進委員会を設置・開催するなど、土地利用規制に関する検討が順調に進んでいます。

地域コミュニティ構築支援事業	地域政策課	
	事業費（計画額）	320万円
	事業費（実績額）	260万円

《 事業概要 》

地域内における各種団体等の連携・強化の促進を図り、本市の目指す自助・共助・公助の視点に立った地域自らのまちづくりを推進するため、コミュニティ協議会を構築した地区（校区）に対して、コミュニティプランの策定に取り組むための会議・会合等に要する経費として補助金を交付します。

- ・ 補助対象期間 2年間
- ・ 補助金額 年間20万円以内

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
コミュニティプランの策定(会議費、研修費、事務費および印刷製本費)に取り組むための補助金交付 (対象) コミュニティ協議会を構築後2年目および新たに構築した協議会	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
160万円	100万円
200,000円×8地区=1,600,000円 (塩江、庵治、大野、浅野、川東、香南、国分寺北部、国分寺南部)	200,000円×5地区=1,000,000円 (塩江、牟礼、香南、国分寺北部、国分寺南部)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	46地区のうち45地区への交付を終了しており、ほぼプランの策定ができました。

地域コミュニティまちづくり活動支援事業	地域政策課	
	事業費（計画額）	1,400万円
	事業費（実績額）	960万円

《 事業概要 》

地域内における各種団体等の連携・強化の促進を図り、本市の目指す自助・共助・公助の視点に立った地域自らのまちづくりを推進するため、コミュニティ協議会を構築し、コミュニティプランを策定した地区（校区）に対して、地域コミュニティ組織の運営およびコミュニティプランに基づく事業計画の策定に取り組むための会議・会合等に要する経費として補助金を交付します。

- ・ 補助対象期間 3年間
- ・ 補助金額 年間20万円以内

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
地域コミュニティ組織運営およびコミュニティプランに基づく事業計画の策定（会議費、研修費、事務費および印刷製本費）に取り組むための補助金交付（対象） コミュニティプラン策定後、事業計画の策定に取り組んでいる協議会	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
580万円	380万円
200,000円×29地区=5,800,000円 (松島、花園、築地、新塩屋町、四番丁、二番丁、日新、亀阜、栗林、鶴尾、太田、太田南、屋島、前田、川添、林、多肥、一宮、円座、檀紙、弦打、鬼無、香西、下笠居、男木、川島、十河、東植田、植田)	200,000円×19地区=3,800,000円 (松島、築地、新塩屋町、四番丁、二番丁、日新、栗林、太田、太田南、屋島、林、一宮、円座、檀紙、鬼無、川島、庵治、大野、川東)

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	46地区のうち40地区への交付を終了しており、概ね順調に進んでいます。

地域まちづくり交付金事業	地域政策課
	事業費（計画額） 3億8,140万円
	事業費（実績額） 2億3,818万円

《 事業概要 》

コミュニティ協議会等が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治および市民と行政との協働による地域自らのまちづくりを推進するため、コミュニティ協議会等に対して、地域の各種事業・団体に対して交付される補助金を一元化して交付します。

その用途については、主体的・積極的なまちづくりの促進とコミュニティ活動を担保するための新たな財源とすることから、本来の補助金等の交付の主旨を担保しつつ、地域に裁量権を付与することで「地域自らのまちづくり」の機運を醸成し、地域の自立を促進するものです。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
一元化交付金 ①地域ふれあい交流事業 ②高齢者地域支え合い事業 ③地区文化祭事業 ④自治会活動支援事業 ⑤地区保健委員会育成支援事業 選択制交付金 ①リサイクル推進事業 ②クリーン高松推進事業 ③分別収集推進事業 ④地区体育協会運営支援事業 ⑤地区子ども会育成連絡協議会補助事業 ⑥学校体育施設開放運営委員会補助事業	平成20年度に一元化した交付金（選択制交付金を含む。）を始め、地域の各種団体に対して助成されている補助金等の一元化を更に推進	地域の各種団体に対して助成されているその他の補助金の中から、一元化できる要素のものが他にあれば検討

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
8,038万円	1億5,780万円

<p>【一元化交付金】</p> <p>地域ふれあい交流事業 高齢者地域支え合い事業 地区文化祭事業 自治会活動支援事業 地区保健委員会育成支援事業</p> <p>【選択制交付金】</p> <p>リサイクル推進事業 クリーン高松推進事業 分別収集推進事業 地区体育協会運営支援事業 地区子ども会育成連絡協議会補助事業 学校体育施設開放運営委員会補助事業</p> <p>交付金は、均等割・人口割・面積割・若年層割・高齢者層割ほかにより算出し、支出</p>	<p>【一元化交付金】</p> <p>地域ふれあい交流事業 高齢者地域支え合い事業 地区文化祭事業 自治会活動支援事業 地区保健委員会育成支援事業 リサイクル推進事業 クリーン高松推進事業 分別収集推進事業 地区体育協会運営支援事業 地区子ども会育成連絡協議会補助事業 学校体育施設開放運営委員会補助事業 交通安全母の会運営支援事業 地区青少年健全育成連絡協議会運営支援事業 自主防災組織活動支援事業</p> <p>交付金は、均等割・人口割・面積割・若年層割・高齢者層割ほかにより算出し、支出</p>
---	--

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成20年度は、一元化交付金と選択制交付金としていましたが、21年度は14事業を一元化して交付することにより、地域自らのまちづくりに向けた助成を行い、概ね順調に進んでいます。

コミュニティセンター整備事業	地域政策課
	事業費（計画額） 6億7,550万円
	事業費（実績額） 3億2,975万円

《 事業概要 》

地域住民によるまちづくり活動の場や生涯学習および地域福祉の推進に資するため、地域コミュニティの活動拠点として整備の決定しているコミュニティセンターについて、地元住民が主体となってワークショップを実施し、整備構想案を策定するとともに、設計コンペの実施などにより整備を行います。

また、コミュニティセンターおよび地区公民館について、建物診断を行い、整備方針を策定するとともに、この方針に基づいて必要な整備を行います。

- ・下笠居コミュニティセンター（平成21年3月竣工予定）
- ・三谷コミュニティセンター（平成23年3月竣工予定）

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
下笠居コミュニティセンター ①用地造成工事 ②建設等工事 等	下笠居コミュニティセンター ①太陽光発電設備 等	/
三谷コミュニティセンター ①地域住民が主体となってワークショップを開催	三谷コミュニティセンター ①設計コンペの実施 ②測量・設計業務 ③用地取得業務 ④用地造成設計業務 ⑤建設工事設計業務 等	三谷コミュニティセンター ①用地造成工事 ②建設工事 ③太陽光発電設備 等
コミュニティセンター等建物診断および整備方針策定	整備方針に基づく整備	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
3,956万円	2億9,019万円
下笠居コミュニティセンター ①用地造成工事 ②建設等工事 等	下笠居コミュニティセンター ①建設工事 等 ②太陽光発電設備 等

三谷コミュニティセンター ①地域住民が主体となってワークショップを開催	三谷コミュニティセンター ①設計コンペの実施 ②測量・設計業務 ③用地取得業務 ④建設工事設計業務 等
コミュニティセンター等建物診断	整備指針の策定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	予定よりは若干、時期が遅れたものの、コミュニティセンター中期整備指針を策定し、概ね順調に進んでいます。

協働企画提案募集事業	地域政策課市民協働推進室
	事業費（計画額） 720万円
	事業費（実績額） 381万円

《 事業概要 》

NPOと市がより良きパートナーとして共に取り組み、社会的・公益的な課題を解決し、市民サービスの向上を目指すため、市民の発想をいかした提案をNPOから募集します。

応募のあった提案事業は、第三者を入れた審査会で選考の上、それぞれの事業をNPOと協働関係課が連携しながら実施します。

<対象事業>

- ・市民福祉の向上が期待できるもの
- ・単独実施よりもNPOと市が連携するほうが、より高い効果が期待できるもの
- ・NPOのアイデアや先駆性・専門性をいかすことができるもの等

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業提案の募集 二つのテーマに分けて提案を募集 課題テーマ部門 自由テーマ部門 委託により実施 1事業当たり450,000円（上限）で予算の範囲内	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
179万円	202万円
<ul style="list-style-type: none"> ・協働企画提案事業（4件） 「子どもの虐待防止に関する啓発・普及活動」 「ひのきの間伐材でつみきをつくる」 「えほんレストランフェスティバル」 「子どもと大人がエコを学び実践する」 ・平成20年度分審査委員会（2回開催、委員5名） ・平成21年度分審査委員会（1回開催、委員5名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働企画提案事業（6件） 「日本語支援が必要な子どもたちへのサポート活動」 「『町屋でショップ』からはじまる仏生山の魅力発見！」 「障害者就労支援事業に伴うコミュニティビジネス創出事業」 「節水意識&水の貴重さ・素晴らしさ・大切さを啓発するドーム下イベント&親子水道教室」開催事業 「奥塩江の石仏の調査整備事業」 「最新 IT の活用と教職員スキル向上教室」 ・平成22年度分審査委員会（1回開催、委員5名）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	年度によってばらつきはあるものの、NPOからの提案は毎年度一定数出てきており、市民と行政との協働による課題解決につながっています。

地域ゆめづくり提案事業	地域政策課	
	事業費（計画額）	440万円
	事業費（実績額）	159万円

《 事業概要 》

地域コミュニティとして、地域の課題に対応する契機を作るとともに、取組の過程において、地域コミュニティのさらなる活性化と基盤の強化に資するため、地域課題の解決もしくは改善につながり、他地域のモデルとなるような事業に対して補助金を交付します。補助金の交付に当たっては、市民を含む審査会で、効果性等の観点から評価するとともに、特に効果が大きく認められる事業は、助成期間を1年延長できるものとします。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
事業提案、審査・選定（3事業）および事業効果の審査・評価 1事業当たり500,000円（上限）	事業提案、審査・選定（新規・継続各3事業）および審査・評価

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
159万円
高松市地域ゆめづくり提案事業公開審査会にて3事業を決定し、実施 「あまから・チャリンコで町づくり」 （木太地区コミュニティ協議会） 「みにに駅伝」 （三谷地区コミュニティ協議会） 「コミュニティビジネス・しおのえ事業」 （塩江地区コミュニティ協議会）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	事業開始初年度ですが、5協議会から応募があり、地域の評価も良好であることから、平成22年度については、さらに応募が増えると予想されるなど、全体として概ね順調に進んでいます。

自治と協働の基本指針（仮称）策定事業	地域政策課
	事業費（計画額） 60万円
	事業費（実績額） 22万円

※平成21年度事業費のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

6年に及ぶ地域コミュニティづくり推進事業を総括し、施策の検証を行うとともに、改めて、本市として目指すべき地域コミュニティ像、地域運営におけるコミュニティ協議会の位置付け、コミュニティプランと総合計画との関係性などを整理し、次のステップにつなげるため、自治と協働の基本指針（仮称）、コミュニティ振興指針・振興計画を策定します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
市民アンケートの実施 市民委員会（コミュニティ関係者、学識経験者および一般市民公募ほか）の組織化および同委員会による調査、検討	市民委員会（コミュニティ関係者、学識経験者および一般市民公募ほか）の組織化および同委員会による調査、検討 自治と協働の基本指針（仮称）の策定

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
22万円
自治と協働の基本指針策定委員会開催 （委員14名、2回開催）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	策定委員会を2回開催し、平成22年度の策定に向けて、協議は概ね順調に進んでいます。

自治基本条例（仮称）制定事業	企画課	
	事業費（計画額）	450万円
	事業費（実績額）	310万円

《 事業概要 》

市民本意の市政運営を明らかにするとともに、市民を主体とする自治を実現するため、住民自治の基本理念や自治体運営の基本原則などを定めた自治基本条例（仮称）を制定します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
自治基本条例（仮称）制定 市民検討委員会開催 （委員20名程度） 市民への説明会開催 制定委員会開催 （委員20名、6回開催）	自治基本条例（仮称）周知・啓発 パンフレット配布（全戸配布） シンポジウム開催	

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
46万円	264万円
高松市自治基本条例を考える市民委員会開催（委員19名、12回開催） 高松市自治基本条例制定委員会開催（委員12名、5回開催）	高松市自治基本条例制定 高松市自治基本条例制定委員会開催（委員12名、5回開催） 市民と市長の意見交換会開催（5回開催） パブリックコメント実施 高松市自治基本条例周知・啓発 条例制定フォーラム開催 パンフレット作成

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	<p>高松市自治基本条例を考える市民委員会、高松市自治基本条例制定員会での検討を経た後、市民と市長の意見交換会、パブリックコメントを行い、高松市自治基本条例を制定し、所期の目的を達成しました。</p> <p>また、この自治基本条例に基づき、自治運営の状況を把握し、検証する高松市自治推進審議会を設置しました。</p>

職員の意識改革（人材育成）事業	人事課
	事業費（計画額） 1,280万円
	事業費（実績額） 925万円

《 事業概要 》

社会経済情勢の変化に的確に対応し市民の負託に応えられるよう、職員の意識改革と資質の向上を図るため、能力評価を主とした現行の「勤務評定制度」を見直し、業績評価を盛り込んだ新たな「人事評価制度」を導入するとともに、選考型の昇任制度を見直し、筆記試験を盛り込んだ「昇任試験制度」（平成19年度に一部導入済み）を拡充実施します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
人事評価制度の試行 昇任試験制度の拡充実施	人事評価制度の本格実施 昇任試験制度の継続実施	人事評価制度の継続実施 昇任試験制度の継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
434万円	491万円
人事評価制度検討チーム5回開催 人事評価制度の試行実施 係長級昇任候補者選考における筆記試験の導入	人事評価制度検討チーム4回開催 人事評価制度の第2次試行実施 筆記試験を盛り込んだ昇任試験制度の継続実施

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	人事評価制度については、職員の共通理解の醸成や地方公務員法の改正の動向も踏まえながら進めている関係上、本格実施には至っていませんが、構築作業は概ね順調に進んでいます。また、昇任試験制度については、筆記試験を盛り込んだ新制度を導入することができました。

財務会計システム再構築事業	情報政策課
	事業費（計画額） 2億4,570万円
	事業費（実績額） 1億9,816万円

《 事業概要 》

現行システムの諸課題の解消とともに、これまでの財務会計に加え、行政評価と庶務事務を合わせてシステム化し、より一層の事務の簡素・効率化を進めるため、3つのシステム（①財務会計システム再構築、②行政評価システム構築、③庶務事務システム構築）を一体的に構築します。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
財務会計システム再構築 行政評価システム構築 庶務事務システム構築	4月 庶務事務システム稼動 6月 行政評価システム稼動 10月 新財務会計システム (予算編成)稼動	4月 新財務会計システム (予算執行)稼動

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
1億4,223万円	5,593万円
財務会計システム再構築 行政評価システム構築 庶務事務システム構築	4月 庶務事務システム稼動 6月 行政評価システム稼動 10月 新財務会計システム (予算編成)稼動

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成21年度では、4月に庶務事務システム、6月に行政評価システム、10月には新財務会計システム（予算編成）が稼動し、計画どおり順調に進んでいます。

大学との連携事業	企画課	
	事業費（計画額）	500万円
	事業費（実績額）	101万円

《 事業概要 》

国における道州制の検討など、国と地方の在り方の見直しが進む中、地域経済活性化や少子高齢化への対応など、個性豊かな地域社会の形成と課題解決を図るため、地域の人的・知的資源である大学との協定締結を行い、多分野・多面的な連携を推進します。

また、平成17年度からの3年間、香川大学・香川県との共同事業として実施した高松都市圏の進むべき方向性や地域政策の在り方についての調査・研究の提言内容を踏まえ、特定行政課題に関する調査研究に取り組みます。

《 事業計画 》

平成20年度	平成21年度	平成22年度
大学との協定締結 連携協議会（仮称）開催 特定行政課題に関する調査研究	継続実施	継続実施

《 事業実績等 》

平成20年度（執行額等）	平成21年度（H22.3末見込額等）
—	101万円
香川大学との包括協定締結 香川大学・高松市連絡協議会の設置 および開催 高松工業高等専門学校（現 香川高等専門学校）との包括協定締結	高松大学・高松短期大学との包括協定締結 香川大学、香川高等専門学校との共同研究 香川大学・高松市連絡協議会の開催

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	<p>香川大学を始め、高松工業高等専門学校（現 香川高等専門学校）、高松大学・高松短期大学と包括協定を締結し、地域の人的・知的資源である大学等と多分野・多面的な連携を推進しています。</p> <p>なお、この協定に基づき、香川大学、香川高等専門学校と特定行政課題について共同研究を行っています。</p>

情報システム最適化事業	情報政策課
	事業費（計画額） 1,100万円
	事業費（実績額） 1,087万円

※平成21年度事業費のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

本市の情報化を円滑に推進するため、技術的な硬直化や行政事務との乖離ならびに機器や機能、管理データの重複等が生じている情報処理システムを見直すとともに、業務プロセスの見直しを踏まえたシステムの再構築など全庁的な情報システムの最適化を図り、最新技術の活用や競争原理の強化による様々な効果を実現して、「業務の簡素・効率化」「情報システム経費の削減・抑制」を達成します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
業務プロセスの見直し 「情報システム最適化計画」策定 情報システム最適化計画策定技術支援委託 現行業務・システムの分析・評価手法の提供 次期システム体系および効果指標の作成 次期システムの要求仕様書策定委託	未定

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
1,087万円
業務プロセスの見直し 「情報システム最適化計画」策定 現行業務・システムの分析・評価 次期システム体系および効果指標の作成 次期システムの要求仕様書策定

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成21年度で「情報システム最適化計画」を策定するなど、計画どおり順調に進んでいます。

職員証 I Cカード化事業	人事課・情報政策課
	事業費（計画額） 1, 560万円
	事業費（実績額） 1, 342万円

《 事業概要 》

市情報ネットワークに接続する際の認証の簡略化とセキュリティ強化を図るとともに、電子マネーなど、各種用途への活用もできるよう、職員証を I Cカード化します。

《 事業計画 》

平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
I Cカード購入 カードリーダー・カードプリンタ・認証ソフト賃借	カードリーダー・カードプリンタ・認証ソフト賃借

《 事業実績等 》

平成 2 1 年度（H22.3 末見込額等）
1, 342万円
I Cカード購入 リーダー、プリンタ、ソフト賃借、消耗品費

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
B	本庁舎内職員については、平成 2 2 年 1 月に完了し、外局、出先機関の職員についても、現在、対応中です。

定住自立圏構想推進事業	企画課
	事業費（計画額） 100万円
	事業費（実績額） 100万円

※平成21年度事業費のみ掲載 平成22年度は未定

《 事業概要 》

国では、人口減少、少子高齢化、厳しい財政状況の中、地方から東京などの大都市圏への人口流出を食い止めるため、地方都市の中心市と周辺市町村が協定による圏域を設定し、一定の高次な都市的機能の集積、確保を図り、いわば人口や文化のダムの機能を果たすことにより、地方圏への人の流れを創出する定住自立圏構想を推進しています。

この構想を推進し、地域の魅力を向上させるとともに、圏域全体の活性化を図るため、本市が中心市となり、近隣町と協定を締結した上で、定住自立圏共生ビジョンを策定し、圏域内で定住できる環境づくりを推進する中、島、街、里が一体的に融合した創造性豊かな海園・田園都市づくりを目指します。

《 事業計画 》

平成21年度	平成22年度
近隣町との協定の締結 定住自立圏共生ビジョンの策定	21年度に締結した近隣町との協定および定住自立圏共生ビジョンに基づく事業の実施

《 事業実績等 》

平成21年度（H22.3末見込額等）
100万円
瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会開催 （委員12名、3回開催） 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会開催 （委員14名、3回開催見込）

《 部局評価 》

評価区分	評価内容
A	平成21年度に本市と周辺5町（土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町）の議会の議決を経て、瀬戸・高松広域定住自立圏形成協定を締結しました。さらに、共生ビジョン懇談会を開催し、幅広い意見をいただき、瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョンを策定します。

2 基本事業目標の進捗状況

【まちづくりの目標① 心豊かな人と文化を育むまち】

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20~H22	備考
人権を大切にする社会づくり	人権啓発の推進	人権啓発活動の推進	地域における人権啓発活動推進のための「人権啓発推進員(仮称)」の設置地区数	地区	44	44	達成
	人権啓発活動拠点の機能充実	隣保館の拠点機能の充実	デイサービス事業の実施箇所数	箇所	2	3	
	人権教育の推進	人権尊重の精神を高める学校人権教育の推進	人権教育教員研修会受講者累積数(平成14年度以後)	人	719	820	
			人権問題の認識を深める社会人権教育の推進	人権教育市民講座参加者数	人/年	2,900	2,980
平和を大切にする社会づくり	平和意識の啓発	平和に対する市民意識の向上	平和に関する出前講座受講者数	人/年	53	40	達成
男女共同参画の社会づくり	男女共同参画意識の啓発	男女共同参画に向けた意識改革	男女共同参画センターの利用者数	人/年	58,000	52,490	達成
	あらゆる分野への男女共同参画の促進	政策・方針決定への女性の参画拡大	女性委員のいない審議会等の割合	%	14.7	0	
	男女が共に豊かで安心できる生活・環境づくりの推進	女性に関する問題や悩みの解消	女性相談件数	件/年	1,400	1,200	達成
			男女が共に子育て、介護を担う家庭づくり	託児室等利用者数	人/年	1,300	2,100
学校教育の充実	豊かな心と体を育てる教育の推進	小児生活習慣病予防の推進	小児生活習慣病二次検診受診者(有所見児童)における受診後の改善・改善傾向の児童数の割合	%	36.1	41.2	
		学校給食における給食残食量の削減	1人当たりの年間残食量	kg	4.4	4.4	達成
学校教育環境の整備	学校教育施設の整備	学校施設の充実	給食場半ドライシステム化整備率	%	10.25	23.08	
			小・中学校の音楽室・図書室空調機設置率	%	100	100	達成
	教育機能と就学支援の充実	学校図書館図書	学校図書館図書標準を達成している小・中学校の割合	%	60.0	100	

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20～H22	備考
学校教育環境の整備	教育機能と就学支援の充実	学校教育の情報化のための環境整備	教育用コンピューター1台あたりの児童数	人/台	5.6	3.6	
			教育用コンピューター1台あたりの生徒数	人/台	6.3	3.6	
青少年の健全育成	青少年健全育成の推進	少年団体育成・仲間づくり	新春子どもフェスティバル競技参加人数	人	1,177	1,300	
生涯学習の推進	学習機会の充実	学習機会の充実	生涯学習センターでの開催講座等の延べ回数	回/年	287	326	
		学校と社会教育施設との連携による体験学習の充実	サンクリスタル高松・市民文化センター・美術館体験学習実施学校数	校	99	94	達成
	学習施設・機能の充実	インターネットを利用した学習情報提供機能の充実	生涯学習センターのホームページへのアクセス数	件/年	252,000	200,000	達成
		図書館資料の整備・充実	市民1人当たり所蔵資料点数	点	2.76	2.74	達成
スポーツ・レクリエーションの振興	スポーツ・レクリエーション活動の推進	市民の健康増進と体力づくりの推進	市主催・共催の各種スポーツイベント参加者数	人/年	15,500	18,500	
	スポーツ・レクリエーション施設の整備	学校体育施設の利用施設の拡充	中学校体育施設(体育館)の開放校数	校	9	11	
文化芸術活動の推進	文化芸術活動の推進	文化芸術活動の充実	美術館におけるギャラリー・トーク、ワークショップ事業延べ数	回/年	115	143	
			デリバリーアーツ事業の実施メニュー	メニュー	7	11	
			デリバリーアーツ事業の実施回数	事業	16	23	
文化芸術を創造する環境づくり	文化芸術施設の整備と機能の充実	資料館の整備・内容の充実	資料館特別展観覧者数	人/年	32,000	25,000	達成
		菊池寛記念館の整備・内容の充実	菊池寛記念館特別展(文学展)の入館者数	人/年	1,566	2,500	
	文化芸術の交流・情報発信の推進	文化芸術の交流・情報発信の充実	「菊池寛記念館だより」の発行回数	回/年	4	4	達成
文化財の保存と活用	文化財の保存と活用	文化財の市指定と登録の促進	市指定および市登録文化財の数	件	72	72	達成

【まちづくりの目標② 人と環境にやさしい安全で住みよいまち】

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20～H22	備考
環境保全活動の推進	環境保全意識の啓発	環境教育の推進	環境学習講座の開催回数	回/年	7	7	達成
			エコホテル自主企画講座の開催回数	回/年	10	10	達成
	自然環境の保全	水生生物調査の拡充	調査河川数	河川	2	2	達成
	環境美化の推進	地域環境美化の推進	清掃用具貸出件数	件	25	30	
		マイロード事業の充実	加入団体数	団体	102	76	達成
	環境汚染防止の推進	ばい煙等発生源対策の推進	排出基準適合率	%	100	100	達成
	資源・エネルギーの有効利用	環境保全・温暖化対策	低公害車・省エネルギー車 公用車導入台数	台	157	130	達成
	環境に配慮した行動の展開	環境行動の率先	市の施設における温室効果ガス排出量	kg-co2	106,667,000	107,874,095	達成
環境保全活動に対する市民意識の向上		早明浦ダムボランティア清掃への公募参加市民の数	人/年	38	20	達成	
ごみの発生抑制・減量・リサイクルの推進	ごみの発生抑制の推進	レジ袋削減	市民・事業者・行政によるレジ袋削減に向けた協定締結数	件	11	20	
		事業所のごみの減量・資源化の促進	地球にやさしい店登録店舗数	店舗	90	300	
	地球にやさしいオフィス登録事業所数		事業所	135	600		
	ごみの減量・リサイクルの推進	ごみの減量・リサイクル	生ごみ堆肥化容器購入補助基数	基/年	350	500	
一般廃棄物の適正処理の推進	ごみの適正処理の推進	一般廃棄物処理業者の意識啓発	講習会への参加者数	人	52	52	達成
	し尿の適正処理の推進	し尿の効率的収集	し尿中継貯留槽数	箇所	4	3	
産業廃棄物の適正処理の促進	適正処理の促進	産業廃棄物処理業者の意識啓発	講習会への参加者数	人	133	133	達成
不法投棄の防止	不法投棄防止対策の推進	監視体制の強化	不法投棄防止用監視カメラの設置台数	台	6	6	達成
居住環境の整備	良質な住宅の供給	市営住宅の改善	市営住宅建替え数	戸	32	42	

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20～H22	備考
居住環境の整備	良質な住宅の供給	市営住宅の改善	耐震診断件数	団地	14	16	
	良好な居住環境の形成	市営住宅の環境改善	トイレの水洗化率	%	69	70	
	地籍調査の推進	地籍調査の推進	庵治町地域の調査進捗率	%	71.6	71.5	達成
			牟礼町地域の調査進捗率	%	80.3	80.3	達成
身近な道路環境の整備	生活道路の整備・充実	市道の改良整備	市道改良率	%	62.17	62.25	
みどりのまちづくり	緑地の保全・都市緑化の推進	都市緑化の推進	公園愛護会の団体数	団体	139	150	
	公園の整備	都市公園の整備	都市公園面積(供用累計)	ha	289	289.41	
河川・港湾の整備	港湾・漁港の整備	高潮対策関連施設の整備	防潮壁等の整備	m	2,720	4,585.30	
下水道・合併処理浄化槽の整備	汚水対策の推進	公共下水道の整備推進	下水道普及率	%	59.2	60.9	
		合併処理浄化槽の整備促進	合併処理浄化槽の普及率(下水道全体計画区域外)	%	57.0 (下水道全体計画区域外)	16.7 (下水道全体計画区域) 57.9 (下水道全体計画区域外)	
	下水道資源の有効利用	下水処理水の有効利用の推進	再生水利用施設数	施設	58	60	
水の循環利用と節水の推進	節水の推進	水の有効利用の促進	水の有効利用の促進等に関する広報紙への記事掲載の回数	回/年	2	2	達成
安全で安定した水道水の供給	安定給水の確保	水道施設の充実	管路の耐震化率	%	5.6	5.6	達成
	安全で良質な水の供給	水質管理の充実	鉛製給水管残存率	%	63.1	60.5	
			小規模貯水槽の点検指導の割合	%	79.2	80.0	
	水道事業経営基盤の強化とサービスの向上	給水原価の抑制	給水原価	円/m3	159.12	168.05	達成
お客さま満足度の向上		水道サービスに対する苦情割合	1/1,000件	0.06	0.05		
消防体制の整備	消防体制の整備・充実	防火・防災意識の高揚	住宅火災警報器の説明会参加者数	人/年	7,400	8,000	
			応急手当等の講習受講者数	人/年	3,600	3,300	達成
危機管理体制の整備	防災体制の整備・充実	地域防災力の向上	地域防災リーダー育成セミナー参加者数	名/年	80	80	達成

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20~H22	備考
危機管理体制の整備	防災体制の整備・充実	住宅・建築物の耐震化	緊急輸送道路沿いの建築物の耐震診断件数	棟	3	55	
			緊急輸送道路沿いの建築物の耐震改修件数	棟	0	35	
	緊急事態対応体制の整備・充実	市民への国民保護に係る意識啓発	国民保護法に係る出前講座の実施回数	回/年	2	2	達成
防犯対策の推進	防犯活動の推進	防犯意識の向上	防犯セミナー参加者数	人/年	165	150	達成
生活衛生の向上	食品衛生対策の推進	営業施設等の衛生管理の向上	営業施設の監視件数	施設/年	9,000	11,000	
	毒物・劇物衛生対策の推進	安全な食品の流通	食品の収去等検査件数	検体/年	542	550	
		毒物劇物による保健衛生上の危害防止	毒物劇物販売業者への監視件数	件/年	170	180	
	環境衛生対策の推進	動物の愛護および管理に関する市民意識の向上	動物愛護推進員数	人	10	24	
		生活衛生諸営業者の法令遵守および公衆衛生に対する意識の徹底	生活衛生諸営業監視件数	件/年	180	220	
交通安全対策の充実	交通安全教育・啓発の推進	交通安全教育の充実	交通安全教室の参加者数	人	46,500	47,000	
		交通安全啓発活動の充実	交通安全啓発活動の参加者数	人	51,000	57,000	
消費者の権利保護と自立促進	消費者権利の保護	消費者啓発事業の充実	消費者月間事業への参加者数	人/年	2,000	2,000	達成
		消費者教育の充実	消費者教室の受講者数	人/年	200	200	達成
	消費者の自立促進	消費者団体活動の充実	高松市消費者団体連絡協議会主催事業の実施回数	回/年	10	10	達成
		廃食油収集ステーション事業の充実	廃食油収集量	ℓ	7,000	7,000	達成

【まちづくりの目標③ 健やかにいきいきと暮らせるまち】

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20～H22	備考
家庭・地域 における子 育て支援	家庭における子育て支援	家庭における子育て支援の充実	子育て相談件数	件/年	750	550	達成
	地域における子育て支援体制の整備	地域における子育て支援の充実	地域子育て支援センター利用者数	人/年	47,000	7,000	達成
			子育て支援総合情報発信事業(サイトアクセス数)	件/年	2,200,000	100,000	達成
	子どもの権利擁護	児童虐待防止の推進	家庭児童相談件数	件/年	2,000	1,400	達成
			養育支援訪問回数(旧 育児支援家庭訪問回数)	件/年	450	700	
	母子保健医療対策の充実	1歳6か月児健康診査の充実	1歳6か月児健康診査受診率	%	91	95	
		3歳児健康診査の充実	3歳児健康診査受診率	%	85	90	
	子どものための生活環境整備	子どもの生活環境の充実	児童館の利用者数(民間児童館含む)	人/年	60,000	62,000	
	子育てに伴う経済的負担の軽減	子育てに伴う経済的負担の軽減	助産施設利用件数	件/年	32	35	
	ひとり親家庭の自立支援	ひとり親家庭の自立支援	自立支援プログラム策定件数	件/年	50	60	
			ひとり親家庭子育て支援事業利用件数	件/年	250	800	
	児童福祉施設の充実	公立保育所の施設整備	施設整備箇所数	箇所	6	11	
		私立保育所の施設整備促進	施設整備箇所数(補助事業)	箇所	4	9	
子育てと仕事の両立支援	保育サービスの充実	保育サービスの充実	病児・病後児保育利用者数	人/年	3,600	4,000	
			ショートステイ・トワイライトステイ利用者数	人/年	20	40	
	放課後児童対策の充実	放課後児童対策の拡充	放課後児童クラブ事業利用者数	人/年	113,500	114,000	
			留守家庭児童会利用者数	人/年	482,478	432,000	達成
	子育てしやすい就業環境の整備促進	子育てしやすい環境の整備	ファミリー・サポート・センター事業登録件数(提供・依頼含む)	件/年	1,500	1,000	達成

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20~H22	備考
健やかに暮らすための健康づくり	生涯を通じた健康づくりの推進	健康に関する市民意識の向上	生活習慣病予防教室など健康教育参加者数	人	36,000	39,000	
	食育の推進	食育に関する啓発	食生活改善推進員数	人	541	630	
			親子で楽しいクッキングなど食育に関する健康教育参加者数	人	9,500	9,500	達成
	保健サービスの充実	こころの健康づくり意識啓発	こころの健康づくり講座などこころの健康教育参加者数	人	750	1,000	
	介護予防の推進	元気な高齢者の介護予防事業の充実	元気な高齢者の介護予防事業参加者数	人	20,000	20,000	達成
		ケアマネジメントの充実	新規要支援認定者の要介護化率	%	18.0	28	達成
	感染症対策の推進	予防接種率の向上	乳幼児の予防接種接種率(日本脳炎を除く)	%	96.0	98	
医療体制の充実	医療施設の整備・充実	医療相談機能の充実	医療相談件数	件/年	200	150	達成
社会保障制度の適切な運営	国民健康保険事業の適切な運営	国民健康保険事業の保険料収納率の向上	口座振替加入率	%	35.0	40	
	後期高齢者医療事業の適切な運営の支援・促進	後期高齢者医療事業の保険料収納率の向上	収納率	%	99.5	98	達成
	介護保険事業の適切な運営	介護サービスの充実	地域密着型サービス利用者数	人/月	1,378	1,415	
			小規模多機能型居宅介護利用者数	人/月	235	373	
国民年金制度の啓発	国民年金制度の加入促進	被保険者(1号)適用者数	人/年	15,000	17,000		
みんなで支え合う地域福祉の推進	地域福祉の推進	地域福祉の推進	民生児童委員数	人	824	840	
	福祉施設の適正な運営	総合福祉会館の利用促進	会議室の年間利用件数	件	1,202	1,240	
		社会福祉法人の適切な運営	社会福祉法人役員研修会参加者数	人	121	130	
障害者の自立支援と社会活動への参加の促進	障害者の自立支援の促進	障害者へのサービスの充実	訪問系サービス(ホームヘルプ)利用量	時間/月	7,063.1	8,163.5	

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20～H22	備考
障害者の自立支援と社会活動への参加の促進	障害者の自立支援の促進	障害者へのサービスの充実	相談支援事業利用件数	件/月	4,015	1,651	達成
	社会活動への参加の促進	障害者の社会活動への参加の促進	手話奉仕員派遣回数	回/年	954	1,192	
	障害者福祉施設の充実	障害者施設等の利用促進	地域活動支援センター利用人数	人	717	898	
高齢者への生活支援と社会活動への参加の促進	高齢者生活支援の充実	在宅生活支援の充実	緊急通報装置の設置台数	台	2,585	2,560	達成
	生きがいきつくりと社会活動への参加の促進	高齢者の生きがいきつくりの充実	高齢者教室延受講者数	人	27,500	26,000	達成
		高齢者の健康と福祉の増進	老人クラブ会員数	人	22,262	23,660	
	高齢者福祉施設の充実	特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホームの定員数	床	1,467	1,527	
生活困窮者の自立支援	生活困窮者の生活支援	被保護者の経済自立の促進	対象者に対する経済自立達成者の割合	%	34	10	達成
		被保護者の日常生活自立の促進	対象者に対する日常生活自立達成者の割合	%	10	7	達成

【まちづくりの目標④ 人がにぎわい活力あふれるまち】

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20～H22	備考
地域性豊かな特色ある観光資源の創造	観光資源の活用と創出	主要観光施設の利用率向上	市有観光施設の利用者数	千人/年	2,100	2,045	達成
			観光客受入態勢の充実	高松インフォメーションプラザの利用率向上	件/年	140,000	134,000
観光客誘致・交流の推進	観光情報の効果的発信	インターネットによる観光情報の充実	観光ホームページの更新回数	回/年	135	150	
			パンフレットによる観光情報の発信の充実	パンフレット送付件数	件/年	700	1,180
	コンベンションの誘致促進	コンベンションの誘致促進	コンベンションの誘致件数	件/年	185	195	
			中央商店街の活性化	中央商店街のにぎわい向上	歩行者・自転車通行量	人	122,408
商工業の振興と地域経済の活性化	企業誘致・交流の推進	地域経済の活性化	事業所数	所	—	23,320	
			従業者数	人	—	222,000	
	中小企業等の育成と振興	中小企業の育成・支援	融資貸付件数	件	20	20	達成
			中小企業経営講習会参加者数	人/年	3,000	3,600	
	流通機能の強化	流通機能の強化	コンテナ貨物取扱量	TEU/年	6,400	5,000	達成
農林水産業の振興	生産の振興	推進野菜の拡大	ナバナ、ブロッコリー等10品目の作付面積	ha	125	131	
	生産体制の強化	認定農業者の確保	認定農業者数	経営体	290	286	達成
		新規就農者の確保	新規就農者数	人	20	30	
	生産基盤の整備	農地の集積の促進	農地利用権設定面積	ha	765	796	
		林道機能の充実	整備延長距離	m	630	450	達成
	交流・体験活動の促進	農業・漁業体験の促進	市民農園設置箇所数	箇所	31	32	
			水産教室開催回数	回	5	8	

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20~H22	備考
特産品の育成・振興とブランド化の推進	特産品の育成・振興	特産品の知名度向上	物産展(友好・姉妹都市物産展など)来場者数	人/日	12,000	1,300	達成
		高松産ごじまん品の育成・振興	アンテナショップ数	箇所	10	3	達成
	ブランド化の推進	K. ブランド産品の推進	認証品目数	品目	10	10	達成
就業環境の向上	就業支援の推進	雇用・労働関係事業・セミナー等情報提供の推進	広報紙等発行件数	回/年	24	24	達成
	勤労者福祉の充実	中小企業勤労者福祉共催事業の推進	加入被共済者数	人	7,250	8,000	
国際化への対応と地域間交流の推進	国際交流活動の推進	国際交流活動に対する市民意識の向上	かがわ国際フェスタの参加者数	人	10,000	20,000	
	多文化共生のまちづくり	相互理解の促進と外国人が暮らしやすいまちづくりの推進	多言語メールマガジン登録件数	件	100	540	
	移住・交流の促進	移住交流に関する受け入れ体制の整備	移住交流に関する情報提供の拡充	件/年	—	375	

【まちづくりの目標⑤ 道州制時代に中枢拠点性を担えるまち】

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込) 値 H22.3 末	目標値 H20～H22	備考
拠点性を高める交通網の整備	幹線道路の整備	幹線道路ネットワークの整備	都市計画道路整備率	%	86.9	87.3	
		四国横断自動車道の整備促進	四国横断自動車道 高松東～鳴門間 利用台数	台/日	16,873	16,000	達成
中心市街地の活性化	中心市街地の機能強化	中心市街地の機能強化	中央通り沿道オフィス環境改善および施設整備の件数	件	1	2	
公共交通の利便性の向上	鉄道・バス等の機能充実・強化	鉄道機能の強化	鉄道(JR・ことでん)利用者数	人/日	49,900	51,800	
		生活バス路線の充実	バス(ことでん)利用者数	人/日	9,000	8,400	達成
	良好な交通環境の確保	適正な交通機関への誘導	パーク・アンド・ライドおよびバス・アンド・ライド駐車場の整備	台	-	2,100	
		公共交通のバリアフリー化	ノンステップバスの導入	%	35	40	
自転車利用の環境づくり	快適な自転車利用の環境整備	歩道の整備	歩道の整備延長	km	4.8	5.6	
		自転車利用の環境の充実	レンタサイクルポートの数	箇所	7	7	達成
適正な土地利用の推進	都市計画制度等の確かな運用	都市計画情報の充実	都市計画基礎図を更新・デジタル化した区域	km ²	375	375	達成
		適正な土地利用の推進	地区計画策定箇所数	箇所	15	13	達成
地域における拠点性の確保	効果的な地域拠点の整備	太田第2土地区画整理事業区域内の土地利用の増進	太田第2土地区画整理事業区域内の居住人口	人	19,000	27,000	
			太田第2土地区画整理事業区域内の宅地化率	%	77	83.60	
地域に即した都市景観の創出	都市景観づくりの推進	伝統的景観の保全と形成	「仏生山歴史街道都市景観形成地区」における都市景観形成助成事業件数	件/年	1	2	
		美しいまちづくりへの市民参加	違反広告物簡易除却活動員活動件数	回/年	40	90	
	海・水辺を生かしたまちづくり	玉藻公園の整備	玉藻公園の年間入園者数	人	135,000	135,000	達成
地域情報化の推進	情報通信基盤の整備と活用	情報通信網の充実	市有施設の光ファイバー接続数	箇所	142	268	
			光ファイバーインターネット普及率	%	21	20	達成

【まちづくりの目標⑥ 分権型社会にふさわしいまち】

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20～H22	備考
地域コミュニティの自立・活性化	コミュニティ組織の充実	地域コミュニティ組織の充実	コミュニティ組織構築地区数	地区	44	44	達成
			コミュニティセンターの指定管理受託数	施設	49	52	
	コミュニティ活動の支援	コミュニティプランの充実	コミュニティプラン作成地区数	地区	39	44	
			まちづくり交付金活用事業の実施割合	%	100	100	達成
	コミュニティ活動拠点の整備・充実	活動拠点の整備・充実	生活排水処理施設を改修したコミュニティセンターの数	施設	41	37	達成
			コミュニティセンター改築整備数	施設	40	41	
多様なパートナーシップによるまちづくり	市政への市民参画の促進	市民参画意識の向上	協働企画提案事業数	事業	13	10	達成
	協働の推進	協働による事業の充実	協働推進員数	人	150	150	達成
		協働推進拠点機能の充実	ボランティア・市民活動センター事業満足度	%	86	86	達成
	広聴・広報活動の充実	広報活動の充実	広報紙(全ページ)を読む市民の割合	%	—	45	
		広聴活動の充実	市長への提言件数	件/年	360	500	
	行政の透明性の向上	個人情報保護事務の充実	開示請求権確認についての申立ての処理期間	即時対応	全件即時対応予定	即時対応	
入札事務の公正・透明性の確保		入札の電子化率【事業】工事請負契約等事務(監理課扱い分) ※21年度までに段階的に適用	%	100	100	達成	
簡素で効率的な行財政システムの構築	行財政改革計画の推進	第4次高松市行財政改革計画の推進	計画登載項目の実施率	%	97.9	100	
	健全な財政運営の推進	窓口における市民サービスの向上	戸籍証明書発行時間の短縮	分/件	15	15	達成
		市税収納率の向上	市税(現年度分)の収納率	%	98.2	98.4	
	適正な行政運営の推進	地方分権の推進	権限委譲を受けた事務項目数	事業	458	430	達成
		審議会委員等の公募制の推進	委員を公募した審議会数	%	30	100	

施策	基本事業	目標	目標項目	単位	実績(見込)値 H22.3末	目標値 H20~H22	備考
簡素で効率的な行財政システムの構築	組織・人事管理の適正化	職員数の適正化	正規職員数	人	3,854	3,767	
	民間活力の導入	事務事業の改革	外部委託化, 委託契約の見直し等による歳出削減額	千円	219,751	219,049	達成
	電子市役所の推進	財務会計事務の簡素・効率化と経費節減	財務会計システムの維持管理経費	千円/年	84,000	42,000	
		電子申請の充実	電子申請数	件/年	400	400	達成
連携の推進	国・県との連携推進	県との連携推進	香川県・高松市政策連携会議回数	回/年	5	2	達成